このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書の内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

特　長

- 高画質28mmF2.8、38mmF2.8のSUPER-EBC FUJINONレンズ搭載
- 初めての人でも使いやすいプログラムAEモードと、表現範囲を広げる絞り優先AEモード
- 絞り開放（F2.8）から最高速度1/500秒での撮影が可能な高速シャッター
- シャッタースピード（1/2ステップ）、撮影モード表示など、充実したファインダー内表示
- 使いやすい露出補正ダイヤルとAEB（オートエクスポージャーブラケティング）機能で、多彩な露出技法を実現
- スナップ撮影に最適な独立したAFロックボタンを装備
- 増減感現像に対応するフィルム感度マニュアル設定モード搭載
- 超高感度フィルムを使ってノンフラッシュ撮影で雰囲気ある写真が撮影できるNP（ナチュラルフォト）システム対応

同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

- □ リチウム電池　CR2　1本
- □ ネックストラップ
- □ 使用説明書
- □ 保証書

目　次

この使用説明書の表記について

☞ ：参考になる情報などの記載
＊ ：注意などの記載

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告	⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　告
絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

⚠警　告

⚠ 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。

⚠ カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。

⚠ 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。

⚠ 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。

⚠ 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注　意

⚠ カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。

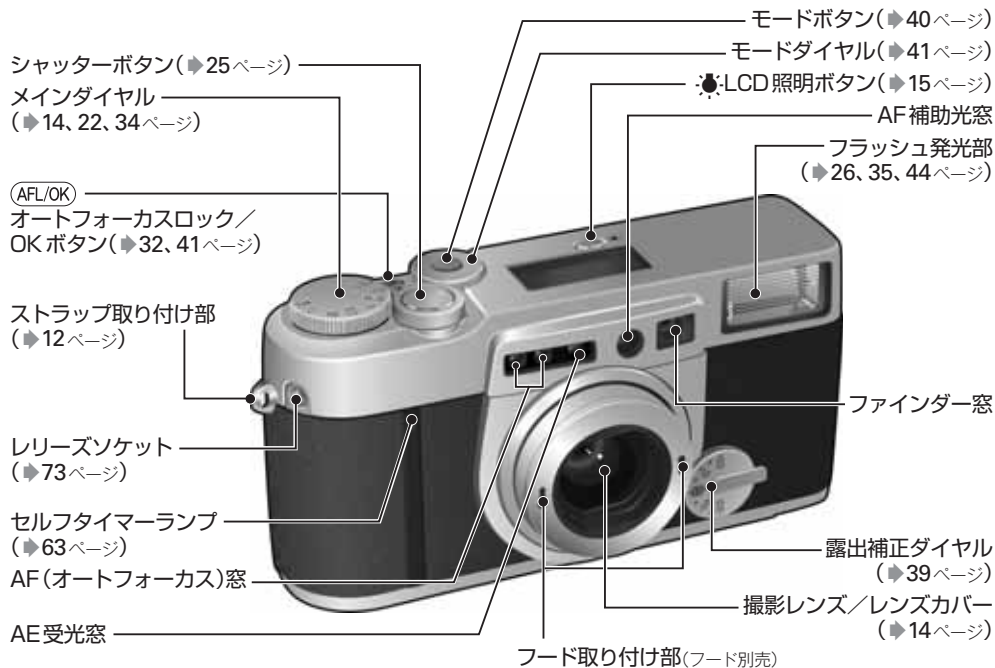
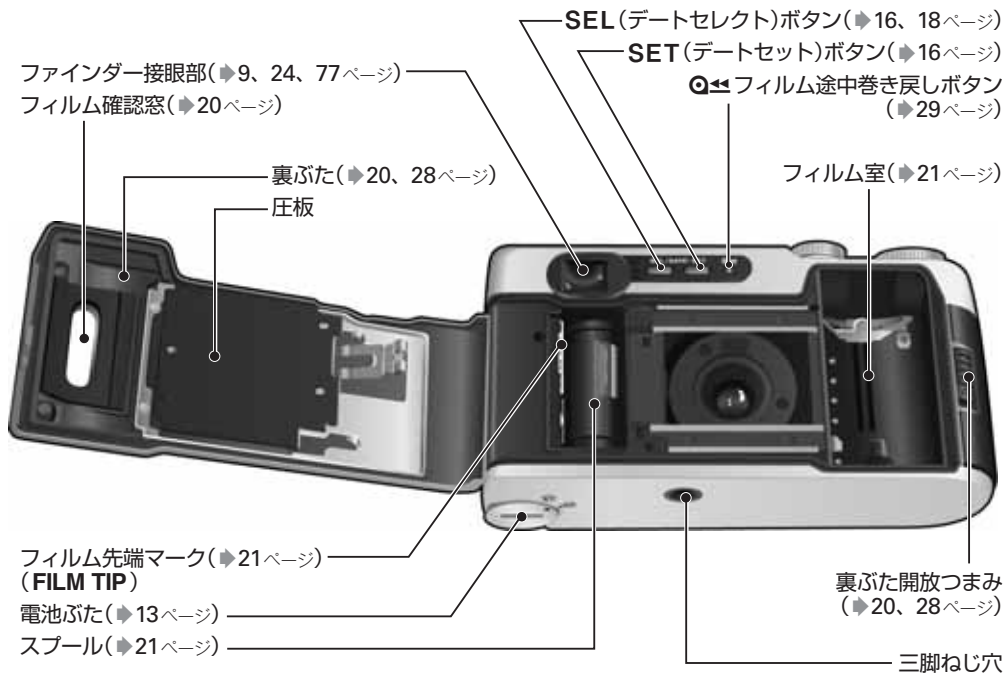
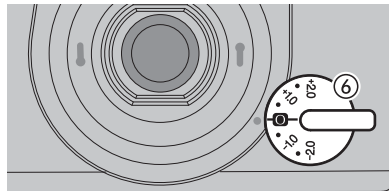
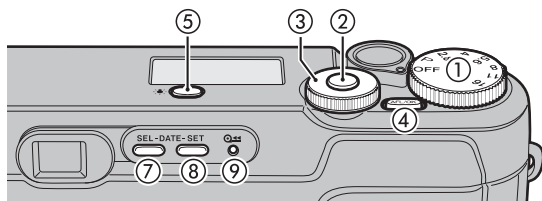
⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

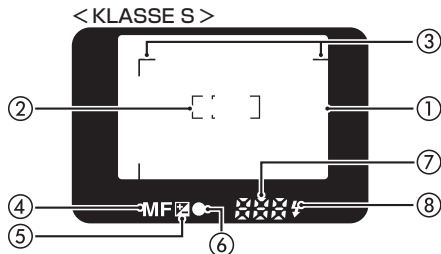
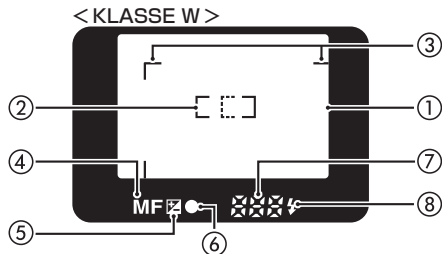
⚠ 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

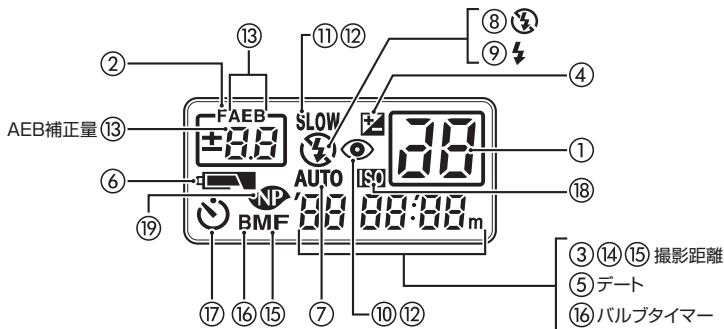
CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定(Conformité Européenne)の略)

各部の名称

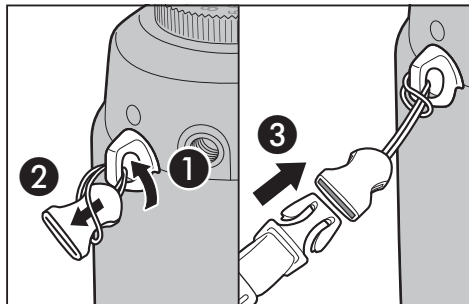
＊(　)内のページに詳しい説明があります。

この説明書の説明イラストはKLASSE Wを使用しています。

▌各部の主な機能

操作系	機　能	参照ページ
① メインダイヤル	電源OFF	14ページ
	プログラムAE	22ページ
	絞り優先AE時、絞りの設定	34ページ
② モードボタン	モードの選択	40ページ
③ モードダイヤル	各モード設定時、設定の切り替え	41ページ
④ AFL/OK（オートフォーカスロック／OK）ボタン	AFロック	32ページ
	モード設定時の決定	41ページ
⑤ LCD照明ボタン	液晶表示部のバックライトの点灯	15ページ
⑥ 露出補正ダイヤル	露出補正の設定	39ページ
⑦ **SEL**（デートセレクト）ボタン	デート設定時、設定の切り替え／デートモードの切り替え	16、18ページ
⑧ **SET**（デートセット）ボタン	デート設定時、設定の決定	16ページ
⑨ フィルム途中巻き戻しボタン	撮影途中のフィルムの巻き戻し	29ページ

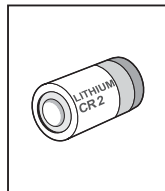
ファインダーについて

名　称	機　能	参照ページ
① 撮影範囲フレーム	このフレーム内で構図を決めます。	24ページ
② AF(オートフォーカス)フレーム	被写体(写したいもの)をこのフレームに合わせます。	24ページ
③ 近距離補正マーク	撮影距離がKLASSE W:約0.3m〜0.7mの場合、KLASSE S:約0.4m〜0.9mの場合、このマークを目安に構図を決めます。	24ページ
④ **MF** マニュアルフォーカス	マニュアルフォーカス設定時に表示されます。	52ページ
⑤ 露出補正	露出補正設定時、AEB設定時に表示されます。	39、50ページ
⑥ ●合焦マーク	ピントが合っているときに表示されます。	25ページ
⑦ シャッタースピード	撮影時のシャッタースピードが表示されます。	25、37ページ
⑧ フラッシュマーク	フラッシュが発光するときに表示されます。	25、37ページ

■ 液晶表示部 （すべての表示が現れている状態）

名　称	機　能	参照ページ
① フィルムカウンター	撮影枚数が表示されます。	21ページ
② F絞り値	プログラムAEモード時、絞り値が表示されます。 ＊シャッターボタン半押し時	25ページ
③ 撮影距離	撮影距離が表示されます。 ＊シャッターボタン半押し時	25ページ
④ 露出補正	露出補正を設定したときに表示されます。	39ページ
⑤ デート	年 月 日 / 月 日 年 / 日 月 年 / 日 時 分 / デート写し込みなし	18ページ
⑥ 電池容量	電池の容量を表示します。	15ページ

名　称		機　能	参照ページ
フラッシュモード	⑦ AUTO自動発光モード	暗いところで自動的に発光します。	45ページ
	⑧ 発光停止モード	フラッシュの発光を停止します。	46ページ
	⑨ 強制発光モード	明るいところでもフラッシュが発光します。	46ページ
	⑩ 赤目軽減モード	撮影前にプレ発光し、赤目現象を軽減します。	47ページ
	⑪ SLOW夜景（スローシンクロ）モード	スローシャッターの強制発光モードになります。	47ページ
	⑫ SLOW夜景ポートレート（スローシンクロ）モード	スローシャッターの赤目軽減モードになります。	47ページ
⑬ **AEB** AEB（オートエクスポージャーブラケティング）モード		適正露出を基準に、アンダーとオーバーの最大3コマを連続して撮影します。 ☞ 補正量を±0.5/±1.0から選択できます。	48ページ
フォーカスモード	⑭ AF オートフォーカスモード	ピントを自動で合わせます。	22ページ
	⑮ **MF** マニュアルフォーカスモード	あらかじめある撮影距離に固定します。	52ページ
⑯ **B**バルブモード		長時間露光できます。 ☞ 時間設定なし/1/2/4/8/15/30/60秒から選択できます。	56ページ
⑰ セルフタイマーモード		シャッターボタンを押すとタイマーが作動して、自動的にシャッターが切れます。 ☞10/2秒から選択できます。	60ページ
⑱ ISO フィルム感度設定		自分でフィルム感度を設定できます。 ☞ISO25～3200から選択できます。	64ページ
⑲ NPモード（設定可能条件時）		ISO800以上のフィルム使用時、カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御（0～+2EV）を行います。	68ページ

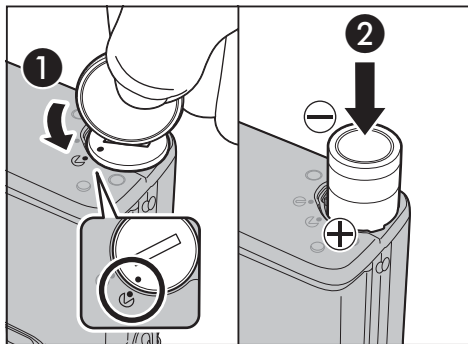
ストラップの取り付け

ストラップ取り付け部にストラップを取り付けます。

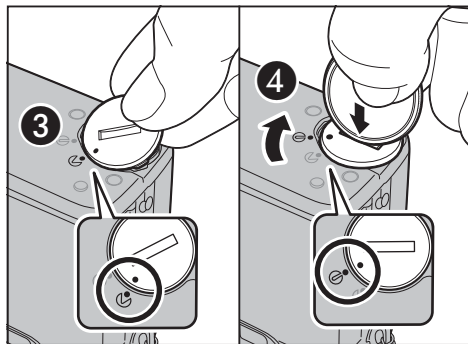
市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

電池を入れる

使用する電池

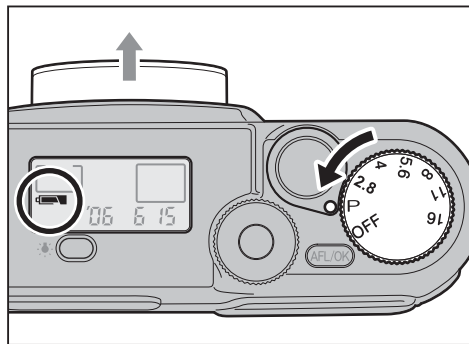
リチウム電池

フジフイルム リチウム CR2　1本

* リチウム電池では約400コマ撮影できます(当社試験条件による)。
* 旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
* 電池を交換したときには必ずデートを合わせてください(▶16ページ)。

❶ 電池ぶたをコインなどで“⋐”まで回して外します。

❷ ⊕⊖の方向を表示に合わせて電池を入れます。

❸ 電池ぶたの赤い“●”を“⋐”に合わせて、

❹ コインなどで押しながら“⊜”まで回してロックします。

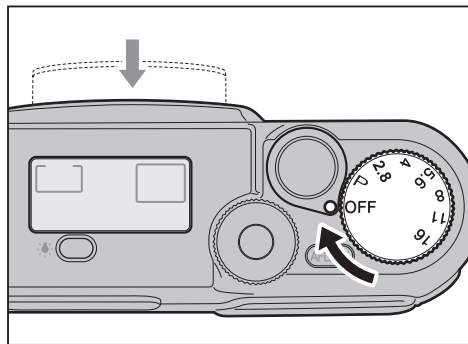
電源ON

メインダイヤルを“P”あるいは絞り目盛りに合わせます。

☞ レンズカバーが開き、鏡胴部が前に出ます。液晶表示部に“[バッテリーマーク]”が表示されます。

＊ 電源を入れるときに、レンズ部を指で押さえないでください。

＊ 電源を入れたまま約5分間放置すると、電源は自動的に切れます。再度電源ON状態にするには、次のいずれかの方法があります。

- シャッターボタンを半押しする。
- いったんメインダイヤルを“**OFF**”に合わせ、その後、元の位置に戻す。

電源OFF

メインダイヤルを“**OFF**”に合わせます。

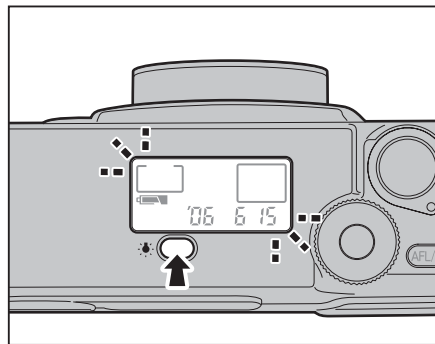
☞ 鏡胴部がカメラに収まり、レンズカバーが閉まります。また、液晶表示が消えます。

電池容量のチェック

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

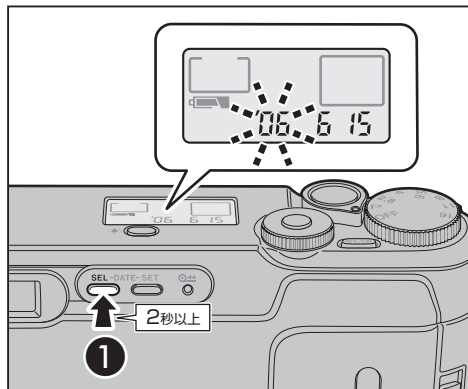
＊ 撮影の前には必ず電池容量をチェックしてください。

＊ 電池の交換はフィルムが入っていても可能です。ただし、デートはリセットされますので、再セットしてください。

LCD照明ボタンのON/OFF

ボタンを押すと、液晶表示部のバックライトが点灯します。

☞ 5秒間操作しないと、自動的に消灯します。

● 点灯したバックライトを消灯したいときは、ボタンを押します。

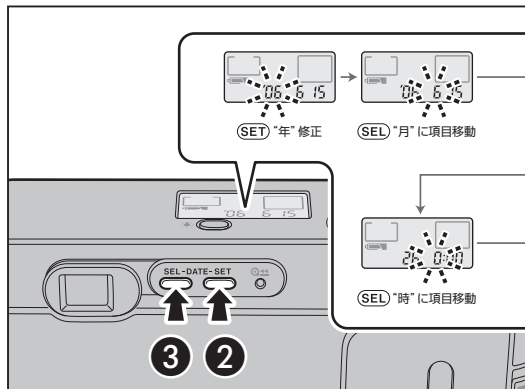
デート(年月日／時分)の合わせ方（電池挿入または交換時）

❶ 電源を入れて、**SEL**ボタンを2秒以上押し続けます。

☞ "年"が点滅し、デート設定モードになります。

○ 設定範囲

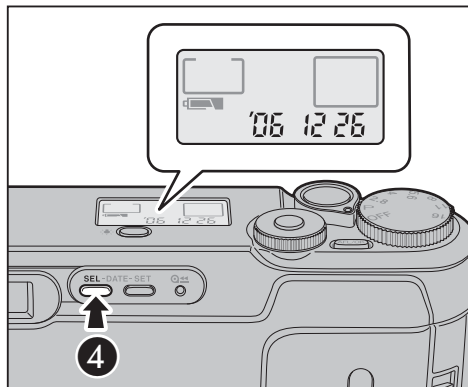
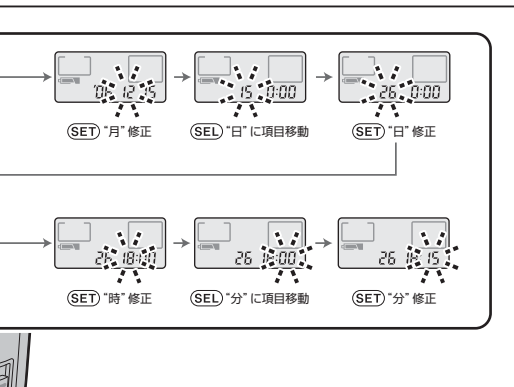
年: '06～'40（2006年～2040年）

月: 1～12　　日: 1～31

時: 0～23　　分: 00～59

❷ **SET**ボタンを押して、点滅している数字を修正します。

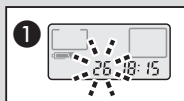
❸ **SEL**ボタンを押すと、設定項目(年・月・日・時・分)が変わります。

☞ 選択中の項目が点滅します。

＊ 年月日は時分に連動して変わります。

❹ "分"を合わせたら、**SEL**ボタンを押して、デート合わせを終了します。

☞ 時報に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に**SEL**ボタンを押します。

準備編

○ デートを設定した後、デートを変更するには

❶ **SEL**ボタンを2秒以上押します。

☞ "日"が点滅し、デート修正モードになります。

❷ **SET**ボタンを押して、点滅している数字を修正します。

❸ **SEL**ボタンを押すと、設定項目(日・時・分・年・月)が変わります。

❹ "月"を合わせたら、**SEL**ボタンを押して、デートの修正を終了します。

デートモードの選択

選択したデートモードが写真の右下に写し込まれます。

電源を入れて**SEL**ボタンを押すと、デートモードが図のように切り替わります。

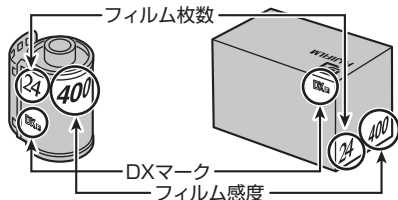
☞ 選択したモードが撮影時に写し込まれます。

＊写し込まれたデート表示が背景によっては見えにくくなる場合があります。

＊デートの写し込みはフィルムが次のコマに巻き上げられるときに行われますので、規定枚数以上撮影した場合、最後のコマは写し込まれないことがあります。

＊“-- -- --”を選択すると、写真にデートは入りません。

フィルムを入れる

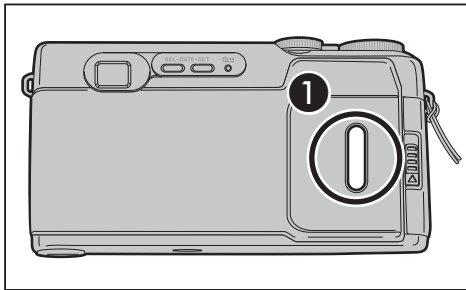
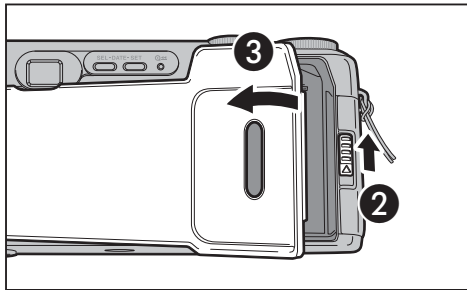
外箱とパトローネ(フィルムの容器)に、DXマークがある135フィルムを使用します。

使用できる感度

ISO 25〜3200

撮影可能枚数

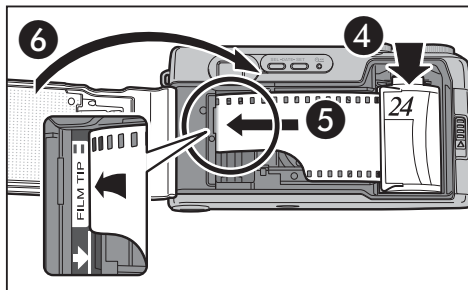
36EXP	24EXP	12EXP
36枚	24枚	12枚

＊規定枚数を超えて撮影できる場合がありますが、最後のコマはプリントされないことやデートの印字が途中で切れることがあります。

- 上記以外の感度のフィルム、DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。
- フィルムの装てん·取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
- フィルムを装てん·取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやホコリが入らないようにご注意ください。レンズ部が汚れたり、ゴミやホコリが入ってしまったら、82ページの「取扱上のお願い」を参考にカメラを清掃してください。

❶ フィルム確認窓からフィルムが装てんされていないことを確認します。

❷ 裏ぶた開放つまみを動かします。

❸ 裏ぶたを開けます。

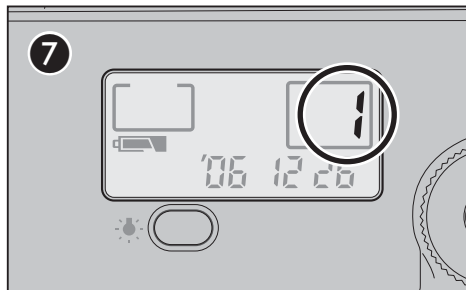
＊ 撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出すときは29ページをご参照ください。

＊ 裏ぶたに無理な力を加えないでください。

❹ フィルムを入れます。

❺ パトローネを押さえながら、フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出し、スプールの上にのせます。

❻ 裏ぶたを閉めます。

☞ フィルムが自動的に1コマ目まで送られます。

＊ パトローネが浮き上がっていると裏ぶたが閉まりません。
＊ フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して、長さを調節してください。ただし、フィルムを長く引き出しすぎると感光する恐れがありますので、ご注意ください。
＊ フィルム確認窓を通して、装てんしたフィルムの種類、フィルム枚数、フィルム感度が確認できます。

❼ フィルムカウンターの表示を確認します。

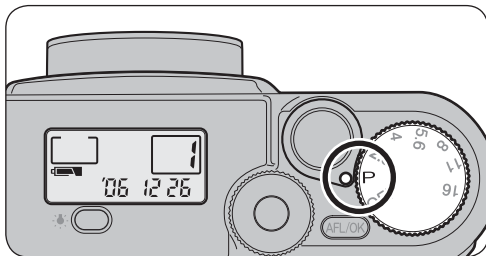
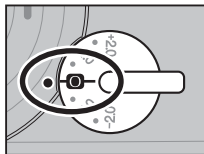
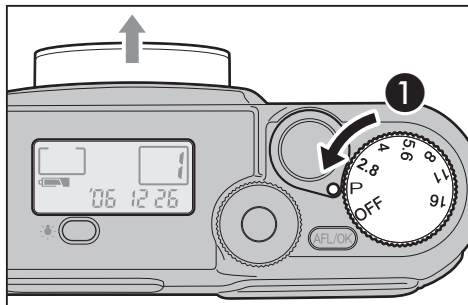
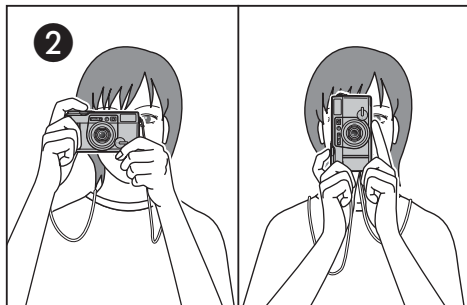
フィルムが正しく装てんされていないと、"E" が点滅し、シャッターが切れません。撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。

撮影開始

ここでは、メインダイヤルを"P"に合わせ、フルオート撮影するときの方法を説明します。
細かい設定を気にせず、気軽に撮影できます。

フルオート撮影とは?

- 露出モード　　　：Pプログラム AE モード
- フラッシュモード：AUTO 自動発光モード
- フォーカスモード：AF オートフォーカス

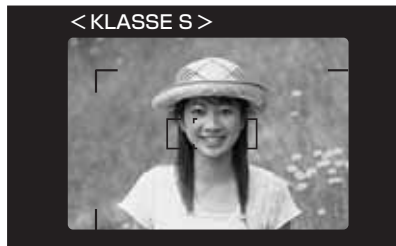
＊ 露出モードの切り替え方法は34ページ、フラッシュモードの切り替え方法は44ページ、フォーカスモードの切り替え方法は52ページをご覧ください。

大切な撮影(結婚式や海外旅行、業務用途など)の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

＊ 露出補正ダイヤルが"-O-"になっていることを確認してください。"-O-"になっていないと、適正露出が得られないことがあります。

❶ メインダイヤルを"P"に合わせて、電源を入れます。

❷ 両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

☞ 縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

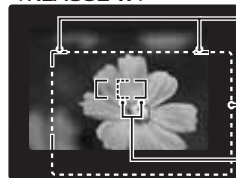
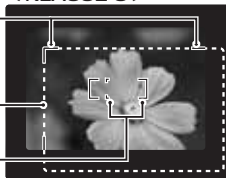
➧ 次ページの手順❸へ

●**撮影距離**

KLASSE W：0.3m～∞
KLASSE S：0.4m～∞

＊ レンズやフラッシュ発光部、AF窓、AE受光窓に、指やストラップが掛からないようにご注意ください。

❸ AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

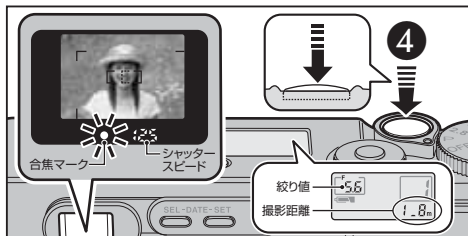
近距離撮影の場合

撮影距離 KLASSE W：約0.3m～0.7mの場合
KLASSE S：約0.4m～0.9mの場合

①構図の決め方

上図の [点線枠] の範囲が写ります。被写体が [点線枠] の範囲内に収まるように構図を決めます。

②ピントの合わせ方

近距離撮影時のAFフレームは [ ] あるいは [ ] です。
[ ] あるいは [ ] に被写体を合わせます。

近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

❹ シャッターボタンを半押しします。

☞ カメラが自動的にピントと露出を設定し、ファインダー内の合焦マークが点灯します。

☞ 液晶表示部に絞り、撮影距離、ファインダー内にシャッタースピードが表示されます。

＊ シャッターボタンを半押ししないで一気に押した場合は、ファインダー内に表示はされません。

❺ シャッターを切ります。

☞ 暗いところでは自動的にフラッシュが発光します。

☞ フィルムが次のコマまで送られ、フィルムカウンターの数字が1増えます。

基本編

○ ファインダー内表示について

＊シャッターボタン半押し時

	点灯	遅い点滅	早い点滅
●合焦マーク	ピントが合っています。	ピントが合いません。 → AFの苦手な被写体のため、AFが働きません。撮りたい被写体と同じような距離、明るさの被写体にAFフレームを合わせ、AFロック撮影してください(➧30、32ページ)。	撮影距離が近すぎます。 → KLASSE Wでは0.3m以上、KLASSE Sでは0.4m以上離れ、AFフレームに被写体が入るようにしてください。 ＊ このとき、液晶表示部の撮影距離表示も点滅します。
⚡フラッシュマーク	フラッシュが発光します。	明るすぎ、露出オーバーになります。 → フラッシュモードを⊛発光停止モードにするか(➧46ページ)、少し離れて撮影してください。	フラッシュ充電中です。 → シャッターは切れません。フラッシュの充電が完了するまでお待ちください。
シャッタースピード		シャッタースピードが遅く、手ブレの可能性があります。	露出連動範囲外です。

フラッシュ撮影距離

フラッシュ撮影時に適正露出が得られるフラッシュ撮影距離は、使用フィルム感度、絞り（絞り優先AEモード時）によって異なります。プログラムAEモードでフラッシュが必要となる暗いところで撮影するときは、以下のフラッシュ撮影距離内で行ってください。

フィルム感度	フラッシュ撮影距離	
	KLASSE W	KLASSE S
ISO 50	0.3m ～ 2.3m	0.4m ～ 2.8m
ISO 100	0.3m ～ 3.2m	0.4m ～ 3.9m
ISO 200	0.3m ～ 4.5m	0.4m ～ 5.6m
ISO 400	0.5m ～ 6.4m	0.5m ～ 7.9m
ISO 800	0.6m ～ 9.1m	0.7m ～ 11.1m
ISO 1600	0.9m ～ 12.9m	1.0m ～ 15.7m

（リバーサルフィルム使用時）

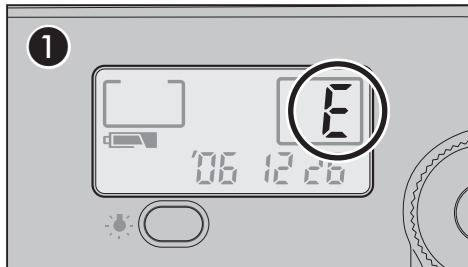
＊ ネガフィルム使用時はラチチュードが広いため、リバーサルフィルムよりある程度遠い距離でも撮影できます。

AFの苦手な被写体

次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影(➧30、32ページ)、マニュアルフォーカス撮影(➧52ページ)を行ってください。

- 被写体の方向に太陽などの明るい光源や反射光(車のフロントガラス、波の反射など)がある場合
- 画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
- 被写体に比べて、背景が極端に明るい場合
- 被写体のコントラストが極端に低い場合
- 被写体が縦線のみで構成されている場合
- 被写体が高速で移動している場合

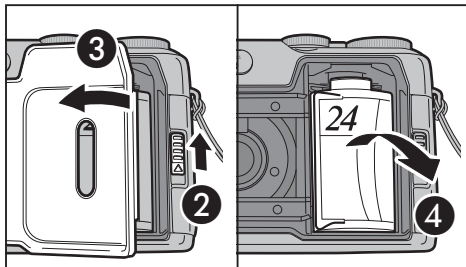
フィルムを取り出す／撮影途中でフィルムを取り出す

▌フィルムを取り出すときは

❶ 最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。

☞ 巻き戻しが完了すると、"E"が表示されます。

＊フィルムを取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやホコリが入らないようにご注意ください。

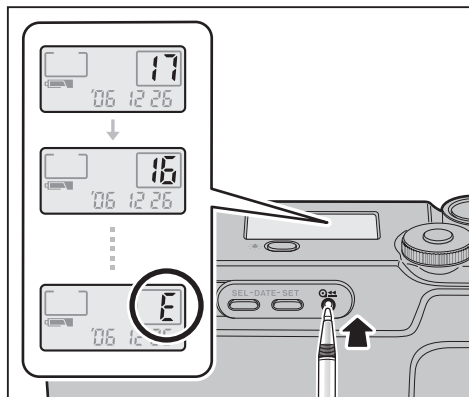
＊規定枚数以上撮影できる場合がありますが、最後のコマはプリントされないことがあります。

必ずモーターが止まり"E"が表示されたことを確認してください。"E"が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがあります。

❷ 裏ぶた開放つまみを動かします。

❸ 裏ぶたを開けます。

❹ フィルムを取り出します。

＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

▌撮影途中で巻き戻すには

◎◂◂ボタンを押します。

☞ 巻き戻しが完了すると、"E"が表示されます。

必ずモーターが止まり"E"が表示されたことを確認してください。"E"が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがあります。

◎ カメラにフィルムが入っているときのご注意

撮影途中のフィルムが入っているときには、絶対に裏ぶたを開けないでください。

☞ フィルムが入っているときに裏ぶたを開けてしまったら、そのまま裏ぶたを閉めてください。

- 裏ぶたを閉めると、自動的にフィルムが巻き戻され、"E"が表示されます。
- 巻き戻されたフィルムは再撮影できません。

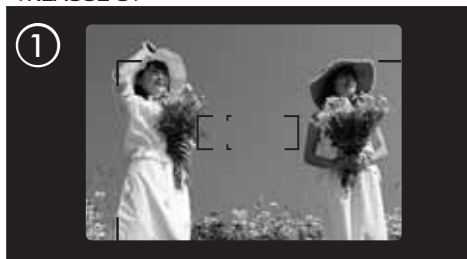
＊巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外は、◎◂◂ボタンを押さないでください。

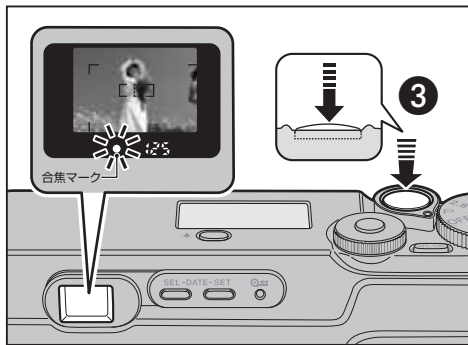
＊◎◂◂ボタンは先端のとがったもので押さないでください。

基本編

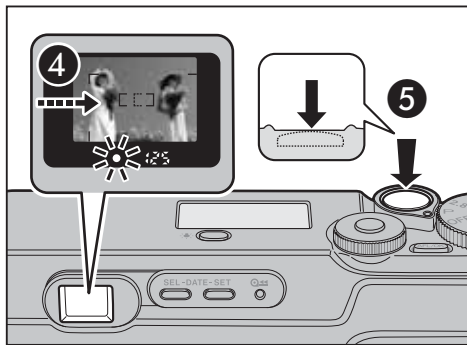
AF(オートフォーカス)ロック撮影

<KLASSE W>

<KLASSE S>

❶ このような構図ではAFフレームが被写体(この場合は人物)から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

❷ AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

❸ そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）します。

☞ ファインダー内の合焦マークの点灯を確認します。

＊このとき、フォーカスと同時に露出もロック（AEロック）されます。

❹ シャッターボタンを半押し（AFロック）したまま最初の構図に戻して、

❺ シャッターを切ります。

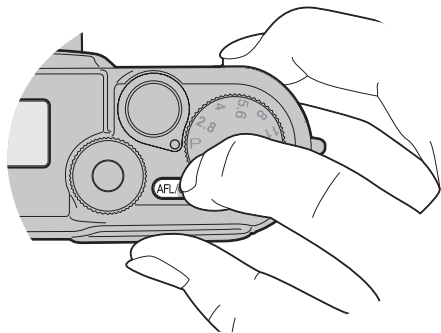
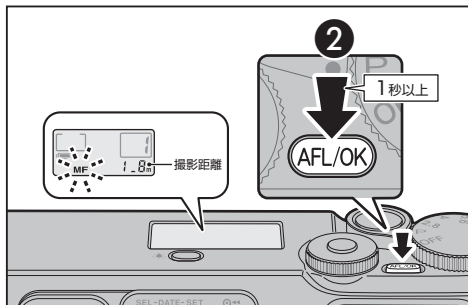
＊AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

応用編

(AFL/OK)ボタンを使ったAF(オートフォーカス)ロック撮影

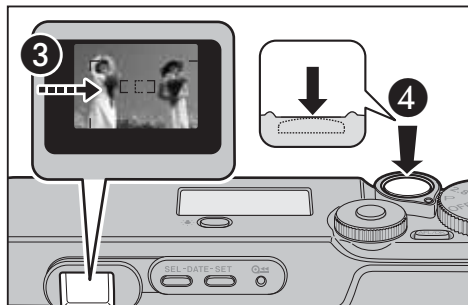
シャッターボタン半押しの代わりに**AFL**ボタンを押して、ピント位置を固定することができます。

<KLASSE W>

<KLASSE S>

❶ AFフレームにピントを合わせたい被写体が入るようにカメラを動かします。

❷ AFLボタンを1秒以上押します。

☞ ピント位置が固定されます。

＊ 液晶表示部の“**MF**”が点滅し、撮影距離が表示されます。

＊ このとき、露出はロック（AEロック）されません。

ファインダー
（シャッターボタン半押し時）

- 合焦マークが点灯します。
- “**MF**”が点滅します。

○ AFロックを解除するときは
再度AFLボタンを押します。

❸ 撮りたい構図に合わせて、

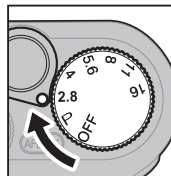
❹ シャッターを切ります。

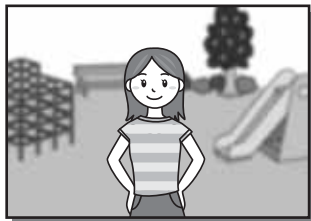
MODE Tips **モードの保持・解除について**

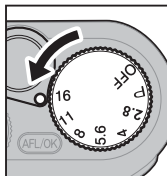
- **AFL**ボタンを使ったAFロックの設定は、1回の撮影ごとに解除されます。
  → 連続して撮影距離を固定して撮影したい場合は、マニュアルフォーカス撮影（➧52ページ）をご使用ください。

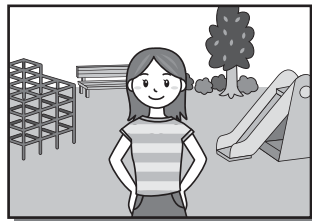
絞り優先AE撮影

絞りを設定すると、適正露出になるようにカメラが自動でシャッタースピードを設定します。
絞りの設定と効果は次のような関係になります。

絞り目盛りを小さい数値にする（絞りを開ける）

☞ 背景をぼかし、被写体だけにピントが合います（被写界深度が浅くなります）。

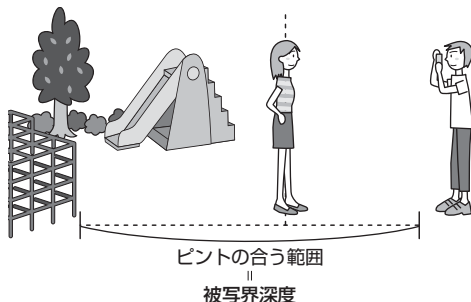
＊「被写界深度が浅い」といった場合は、ピントの合う範囲が「狭い」ことを指します。

ポートレート撮影などに有効です。

絞り目盛りを大きい数値にする（絞りを絞る）

☞ 広い範囲にピントが合います（被写界深度が深くなります）。

＊「被写界深度が深い」といった場合は、ピントの合う範囲が「広い」ことを指します。

風景撮影などに有効です。

被写界深度とは

被写体にピントを合わせたとき、その前後にもピントが合う範囲があります。この範囲を「被写界深度」といいます。

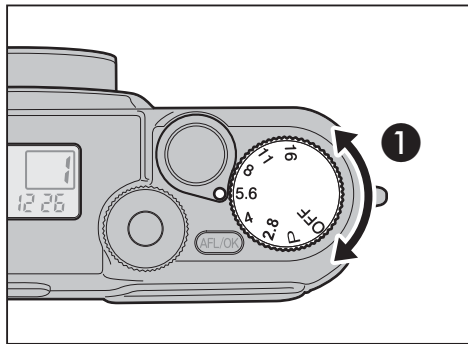
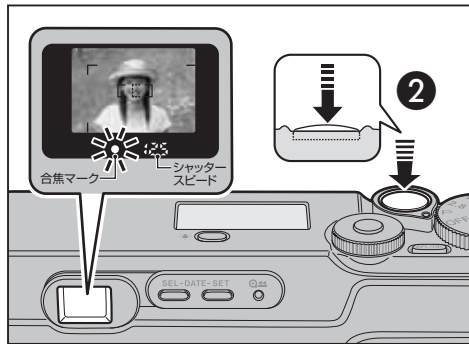
ピントの合う範囲
＝
被写界深度

性質

① 絞りが開放になるにともない被写界深度は浅くなり、絞り込むほど被写界深度は深くなります。
② 撮影距離が遠くなるほど被写界深度は深く、近いほど浅くなります。
③ ピントを合わせた被写体の前方深度（近い側）は後方深度（遠い側）より浅くなります。

＊ 詳しくは76ページの被写界深度表をご参照ください。

絞り優先AE撮影時、フラッシュ光の届く距離は、ガイドナンバーを絞り値で割って算出します。

$$フラッシュ光の届く距離 = \frac{ガイドナンバー}{絞り値}$$

フィルム感度	ガイドナンバー	
	KLASSE W	KLASSE S
ISO 50	6.4	5.5
ISO 100	9	11
ISO 200	12.8	15.5
ISO 400	18	22
ISO 800	25.6	31
ISO 1600	36	44

❶ メインダイヤルを回して、絞りを設定します。

❷ シャッターボタンを半押しして、ファインダー内の合焦マークの点灯を確認します。

メインダイヤルは、クリックのあるところにセットしてください。中間にセットすると、露出不良の原因になります。

＊絞り／シャッタースピード／被写界深度の関係について詳しくは、75ページ～をご参照ください。

ファインダー内表示について

＊シャッターボタン半押し時

	点 灯	遅い点滅	早い点滅
ϟフラッシュマーク	フラッシュが発光します。	明るすぎ、露出オーバーになります。 → フラッシュモードを発光停止モードにするか(➧46ページ)、少し離れて撮影してください。	フラッシュ充電中です。 → シャッターは切れません。フラッシュの充電が完了するまでお待ちください。
シャッタースピード		シャッタースピードが遅く、手ブレの可能性があります。	露出連動範囲外です。

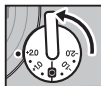
❸ シャッターを切ります。

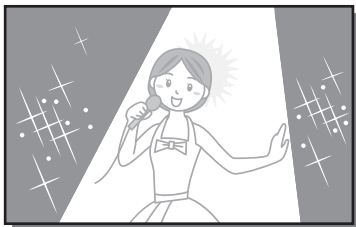
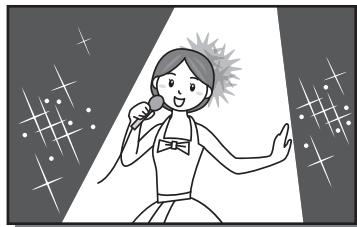
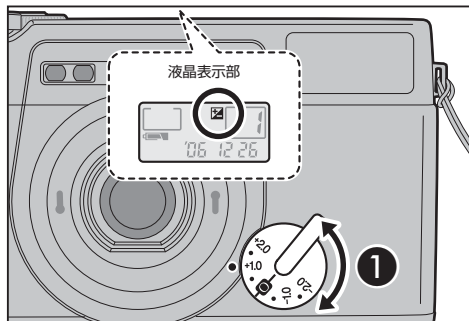
応用編

露出補正

カメラが決める標準的な露出を意図的に変えることを露出補正といいます。
背景が非常に明るい場合、逆に背景が非常に暗い場合などに使用します。

＋（プラス）補正

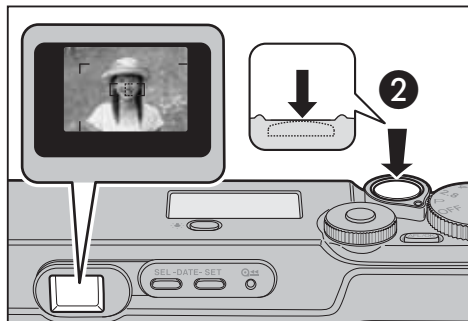
スキー場での人物撮影など、背景が非常に明るい場合、被写体が暗く写ります。

全体が明るめになり、被写体が自然に写ります。

－（マイナス）補正

スポットライトを浴びた人物撮影など、背景が非常に暗い場合、被写体が白っぽく写ります。

全体が暗めになり、被写体が自然に写ります。

❶ 露出補正ダイヤルを回して、露出補正値を設定します。

☞ 液晶表示部に"⊠"が表示されます。

ファインダー
（シャッターボタン半押し時）

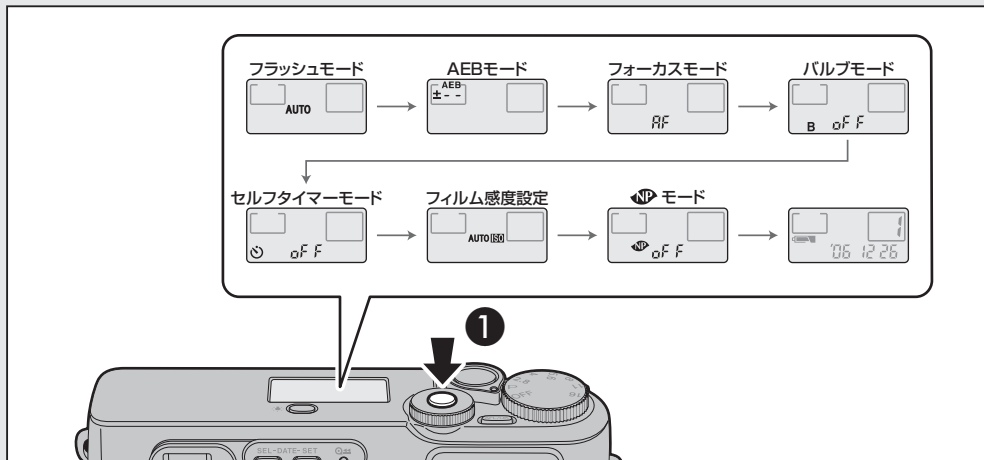
● "⊠"が表示されます。

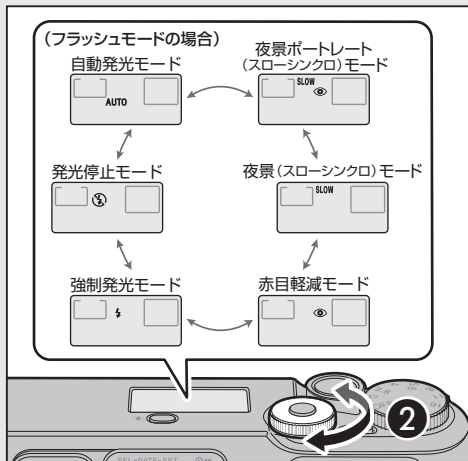
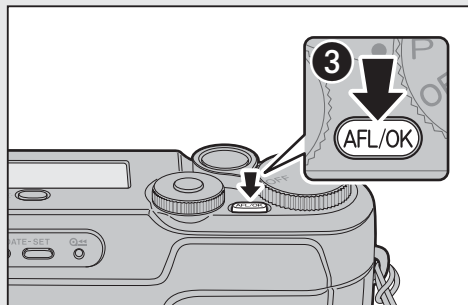
露出補正ダイヤルは、クリックのあるところにセットしてください。中間にセットすると、正しく露出補正されない場合があります。

❷ 構図を決めて、シャッターを切ります。

○ 露出補正を解除するときは
露出補正ダイヤルを ⓪ に戻します。

＊ NP モード（➡68ページ）を設定しているときに露出補正をかけると、NP モードは解除されます。

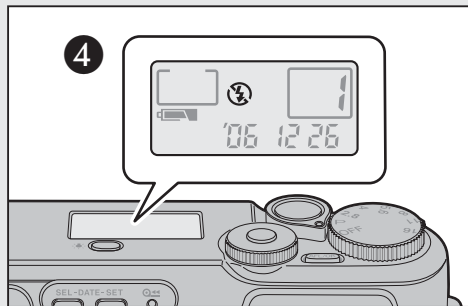
モードの切り替え

フラッシュモードの切り替えや、AEB、マニュアルフォーカス、バルブ、セルフタイマーなどを設定できます。

❶ モードボタンを押します。

☞ モードボタンを押すたびに、**フラッシュモード ➧ AEBモード ➧ フォーカスモード ➧ バルブモード ➧ セルフタイマーモード ➧ フィルム感度設定 ➧ NP モード**（ISO800以上のフィルム使用時）と切り替わります。

❷ モードダイヤルを回し、設定したいモードを表示します。

❸ AFL/OK ボタンを押して、決定します。

☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

● シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

次ページの手順❹へ

❹ ISO フィルム感度モード（ISO800以上のフィルム使用時は NP モード）の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。

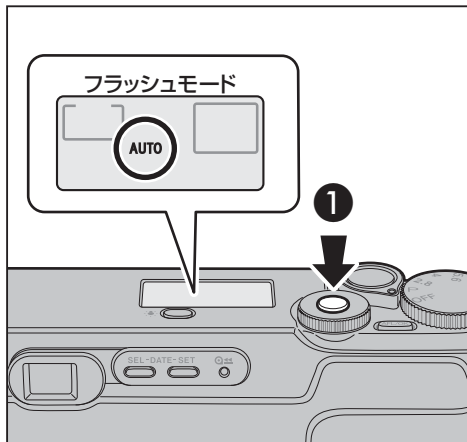
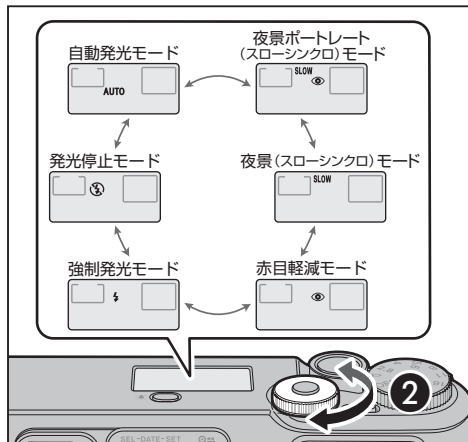
☞ 設定したモードが液晶表示部に表示されます。

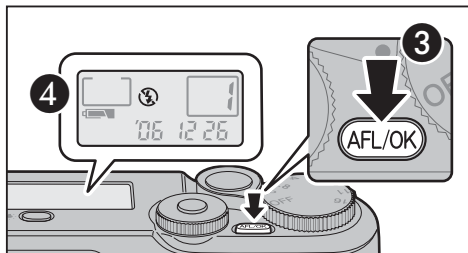
5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

モード一覧

名　称		機　能	参照ページ
フラッシュモード	AUTO 自動発光モード	暗いところで自動的に発光します。	45ページ
	発光停止モード	フラッシュの発光を停止します。	46ページ
	強制発光モード	明るいところでもフラッシュが発光します。	46ページ
	赤目軽減モード	撮影前にプレ発光し、赤目現象を軽減します。	47ページ
	SLOW 夜景(スローシンクロ)モード	スローシャッターの強制発光モードになります。	47ページ
	SLOW 夜景ポートレート(スローシンクロ)モード	スローシャッターの赤目軽減モードになります。	47ページ
AEB AEB(オートエクスポージャーブラケティング)モード		適正露出を基準に、アンダーとオーバーの最大3コマを連続して撮影します。 ☞補正量を±0.5/±1.0から選択できます。	48ページ
フォーカスモード	AF オートフォーカスモード	ピントを自動で合わせます。	22ページ
	MF マニュアルフォーカスモード	あらかじめある撮影距離に固定します。	52ページ
B バルブモード		長時間露光できます。 ☞時間設定なし/1/2/4/8/15/30/60秒から選択できます。	56ページ
セルフタイマーモード		シャッターボタンを押すとタイマーが作動して、自動的にシャッターが切れます。 ☞10/2秒から選択できます。	60ページ
ISO フィルム感度設定		自分でフィルム感度を設定できます。 ☞ISO25～3200から選択できます。	64ページ
NP NPモード(設定可能条件時)		ISO800以上のフィルム使用時、カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御(0 ～+2EV)を行います。	68ページ

フラッシュモードの選択

このカメラには、6種類のフラッシュモードが用意されています。
被写体に応じた撮影を楽しむことができます。

❶ モードボタンを押して、フラッシュモード選択に入ります。

❷ モードダイヤルを回し、設定したいモードを表示します。

＊ **AEB**モード(➧48ページ)、NPモード(➧68ページ)を設定しているときは、自動的に発光停止モードになり、他のフラッシュモードは選択できません。

❸ AFL/OKボタンを押して、決定します。

☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

- シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

❹ ISOフィルム感度モード（ISO800以上のフィルム使用時はNPモード）の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。

☞ 液晶表示部には、設定したフラッシュモードが表示されます。

＊ **AUTO**モードのときは表示されません。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

AUTO 自動発光モード

通常の撮影に使用します。

暗いところで自動的に発光します。

発光停止モード

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。

フラッシュの発光を停止します。

＊暗い場所で撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影で使用します。

明るいところでもフラッシュが発光します。

◉ 赤目軽減モード

赤目現象を軽減します。

フラッシュが4回プレ発光した後、5回目に撮影のためのフラッシュが発光します。

赤目現象について

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これはフラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

SLOW 夜景(スローシンクロ)モード

夜景の撮影で使用します。

スローシャッターの強制発光モードになります。

SLOW◉ 夜景ポートレート(スローシンクロ)モード

夜景と人物を同時に撮影するときに使用します。

スローシャッター･赤目軽減モード(プレ発光4回後フラッシュ発光)になります。

夜景モード／夜景ポートレートモードでは、シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレ防止のため三脚を使用してください。また、撮影中は被写体も動かないようにしてください。

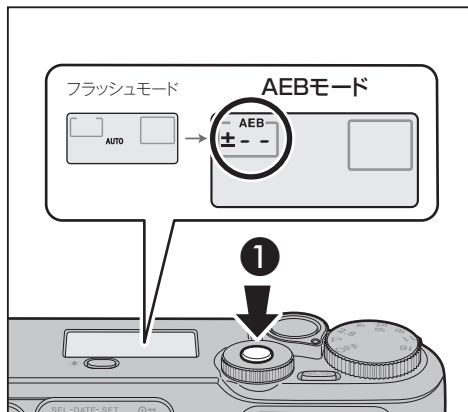
AEBAEB（オートエクスポージャーブラケティング）撮影

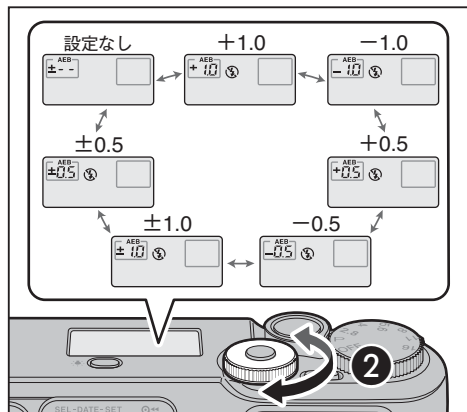
AEB（Auto Exposure Bracketing）撮影では、適正露出を基準にアンダーとオーバーなど、露出を変えて連続撮影できます。リバーサルフィルムを使用した撮影や微妙な色合いを表現したいときに有効です。

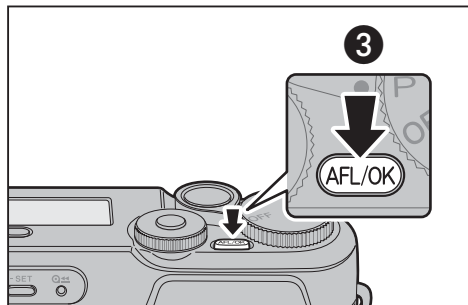
設定可能範囲	
±0.5/±1.0	**適正露出**➧**アンダー**➧**オーバー**の順に、**3コマ連続**して撮影します。
＋0.5/＋1.0	**適正露出**➧**オーバー**の順に、**2コマ連続**して撮影します。
－0.5/－1.0	**適正露出**➧**アンダー**の順に、**2コマ連続**して撮影します。

適正露出　**アンダー**　**オーバー**

● 露出補正と組み合わせてAEB撮影することもできます。

MODE Tips **モードの保持・解除について** AEBモードは撮影後も保持され、続けて撮影することができます。
電源を切ると、自動的に解除されます。

❶ モードボタンを押して、AEB補正量を表示させます。

☞ AEBモードの設定に入ります。

❷ モードダイヤルを回し、設定したいAEB補正量を表示させます。

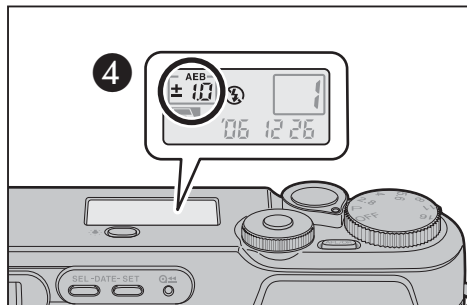
次ページの手順❸へ

❸ AFL/OK ボタンを押して、決定します。

☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

● シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

＊ AEBモードを選択すると、フラッシュモードは自動的に発光停止モードになります。

＊ AEBモードが解除されると、元のフラッシュモードに戻ります。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

❹ ISOフィルム感度モード（ISO800以上のフィルム使用時は NP モード）の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。

☞ AEBモードを設定すると、液晶表示部に"**AEB**"とAEB補正量が表示されます。

ファインダー

（シャッターボタン半押し時）

● "±"が表示されます。

＊ ファインダー内のシャッタースピードは適正露出のコマのシャッタースピードを表示します。

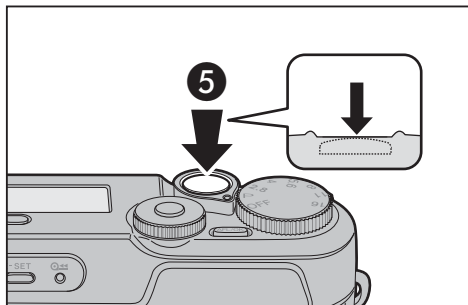
適正露出のコマのシャッタースピード

モードの保持・解除について ▶ AEBモードは撮影後も保持され、続けて撮影することができます。
電源を切ると、自動的に解除されます。

❺ 構図を決めて、シャッターを切ります。

連写する場合

シャッターボタンを押し続けます。
☞ 連続してシャッターが切れます。

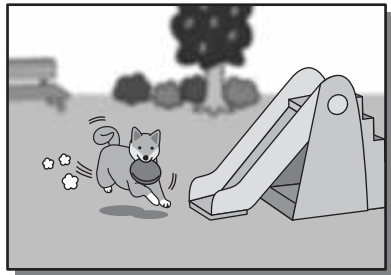
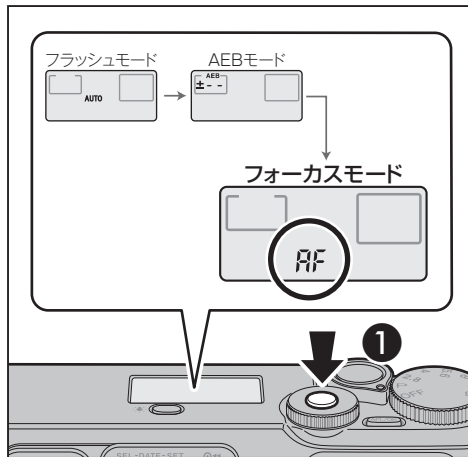
1コマずつ撮影する場合

1コマずつシャッターボタンを押します。
もう一度シャッターボタンを押すと、続きから撮影が再開されます。

＊3コマ/2コマとも、適正露出のコマのピントで撮影します。すべての撮影が終わると、ピントと露出はリセットされます。

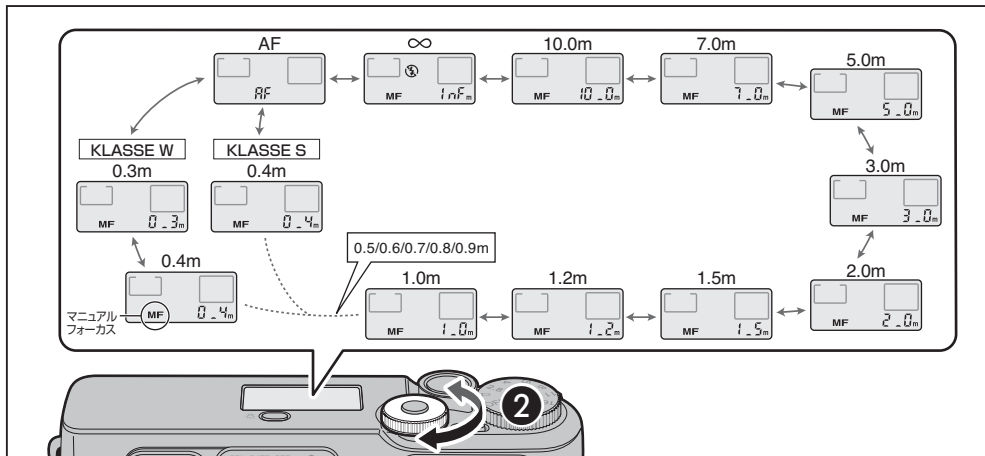
＊撮影コマ数のいずれかが露出連動範囲外になると、ファインダー内のシャッタースピードが早い点滅、液晶表示部のAEB補正量が点滅し、シャッターは切れません。

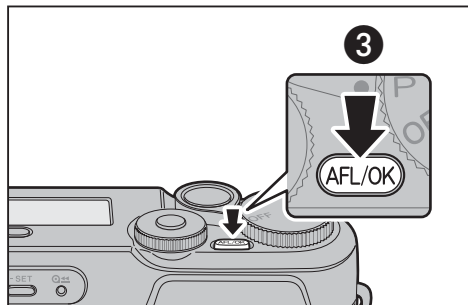
＊フィルム残数が設定枚数未満の場合、残数分しか撮影できません。

MF マニュアルフォーカス撮影

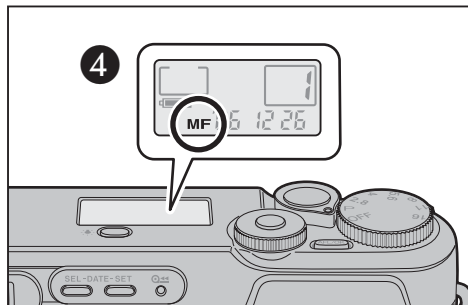
AFでピントが合わないときや撮影距離を固定したいときに使用します。

あらかじめ撮影距離(犬からカメラまでの距離)を設定して撮影

❶ モードボタンを押して、"AF"を表示させます。

☞ フォーカスモードの設定に入ります。

モードの保持・解除について マニュアルフォーカスモードは撮影後も保持され、続けて撮影することができます。電源を切ると、自動的に解除されます。

❷ モードダイヤルを回し、設定したい撮影距離を表示させます。

＊"∞"に設定すると、フラッシュモードは自動的に発光停止モードになり、他のフラッシュモードを選択できません。

次ページの手順❸へ

❸ AFL/OK ボタンを押して、決定します。

☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

❹ ISO フィルム感度モード（ISO800以上のフィルム使用時は NP モード）の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。

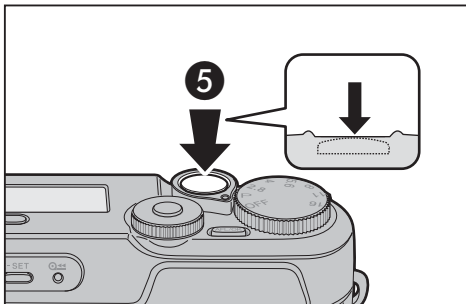
☞ マニュアルフォーカスモードを設定すると、液晶表示部に"**MF**"が表示されます。

- シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

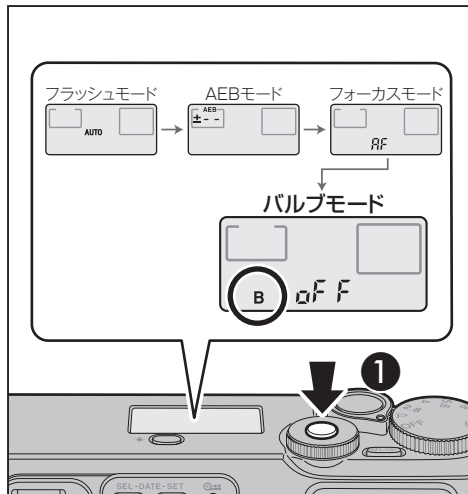
ファインダー
（シャッターボタン半押し時）

- "**MF**"が表示されます。

モードの保持・解除について ▶ マニュアルフォーカスモードは撮影後も保持され、続けて撮影することができます。電源を切ると、自動的に解除されます。

❺ 構図を決めて、シャッターを切ります。

B バルブ撮影

長時間露光が必要な夜景の撮影などに使用します。

通常よりもシャッターの開いている時間を長くできます

❶ モードボタンを押して、"B"を表示させます。

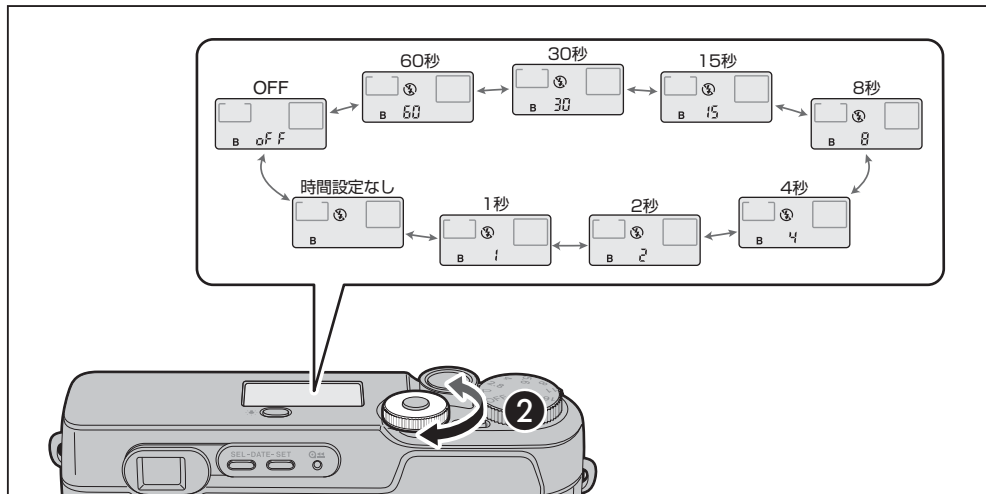
☞ バルブモードの設定に入ります。

＊ AEB モードを設定しているときには、バルブモードは設定できません。

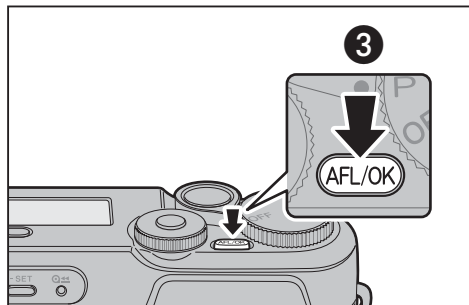
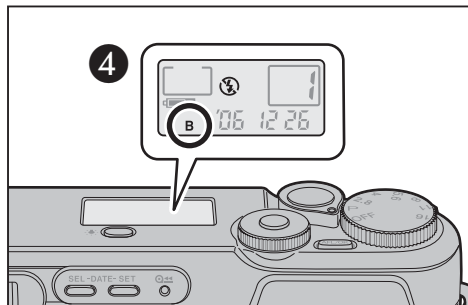
MODE Tips **モードの保持・解除について** ▶ バルブモードは1回の撮影ごとに解除されます。

OFF　B oFF
60秒　B 60
30秒　B 30
15秒　B 15
8秒　B 8
4秒　B 4
2秒　B 2
1秒　B 1
時間設定なし　B

SEL-DATE-SET

❷

❷ モードダイヤルを回し、設定したい露光時間を表示させます。

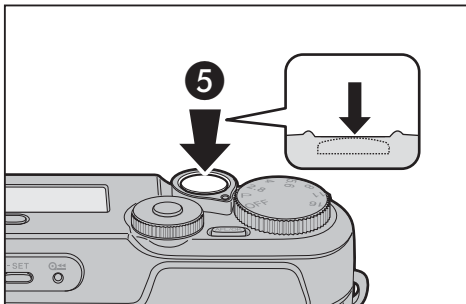
☞ 時間設定なし/1/2/4/8/15/30/60秒から選択できます。

＊ バルブモードに設定すると、フラッシュモードは発光停止モードになりますが、再度フラッシュモードの選択で、**AUTO** 自動発光モードと赤目軽減モードを選択することができます。

❸ AFL/OK ボタンを押して、決定します。
☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

❹ ISO フィルム感度モード(ISO800以上のフィルム使用時は NP モード)の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。
☞ バルブモードを設定すると、液晶表示部に"**B**"が表示されます。

● シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

ファインダー
(シャッターボタン半押し時)

● "bulb"が表示されます。

5 構図を決めて、シャッターを切ります。

バルブ撮影時間を設定しなかった場合

シャッターを押している間、シャッターが開きます。

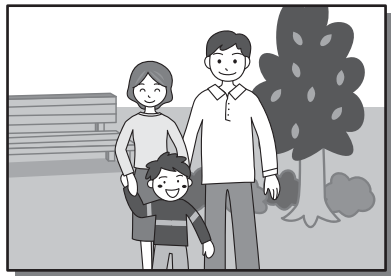
バルブ撮影時間設定をした場合

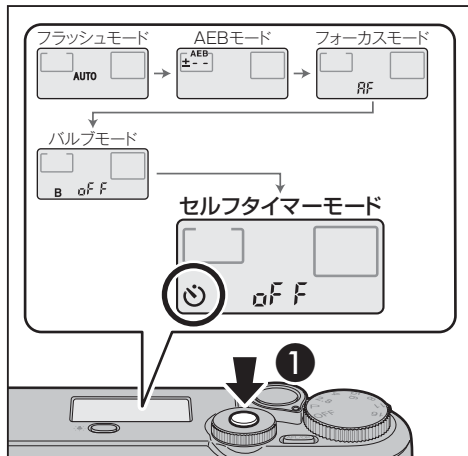
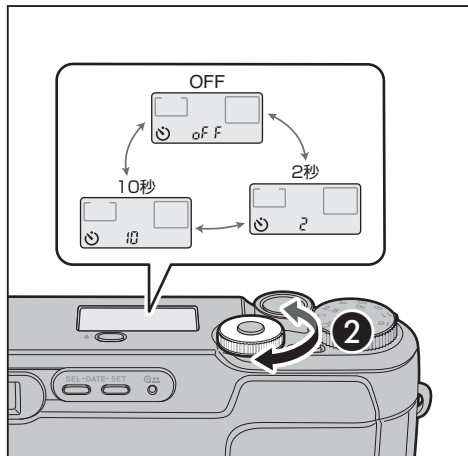
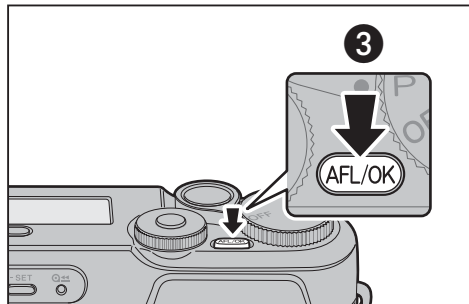
設定した時間中シャッターが開き、自動的にシャッターが閉じます。

☞ 液晶表示部のバルブ撮影時間がカウントダウンします。

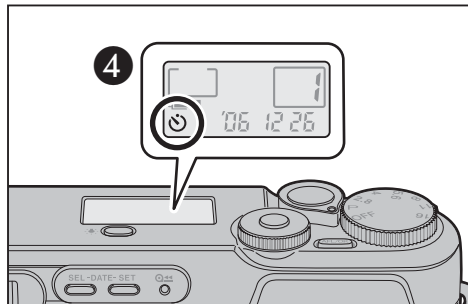
手ブレ防止のため、必ず三脚を使用してください。

セルフタイマー撮影

撮影者自身も一緒に撮りたいとき、手ブレを防止したいときなどに使用します。

セルフタイマー作動時間を10秒にセットして、撮影者自身も一緒に撮影

夜景撮影などでシャッタースピードが遅くなるとき、セルフタイマー作動時間を2秒にセットして、シャッター操作でカメラが動くことによるブレを軽減

❶ モードボタンを押して、"◌"を表示させます。
☞ セルフタイマーモードの設定に入ります。

❷ モードダイヤルを回し、設定したいセルフタイマー作動時間を表示させます。
☞ 10/2秒から選択できます。

➡ 次ページの手順❸へ

❸ AFL/OK ボタンを押して、決定します。

☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

❹ ISO フィルム感度モード（ISO800以上のフィルム使用時は NP モード）の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。

☞ セルフタイマーモードを設定すると、液晶表示部に"セルフタイマー"が表示されます。

● シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

❺ 構図を決めて、シャッターを切ります。

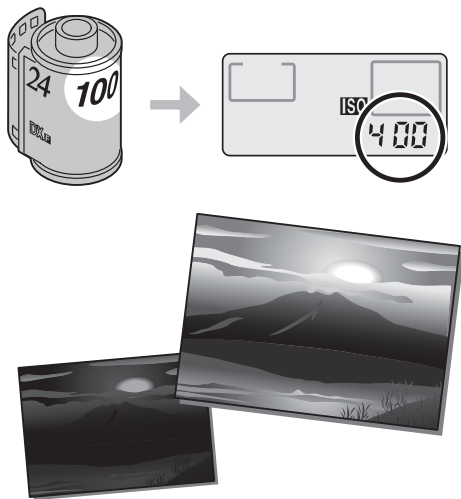
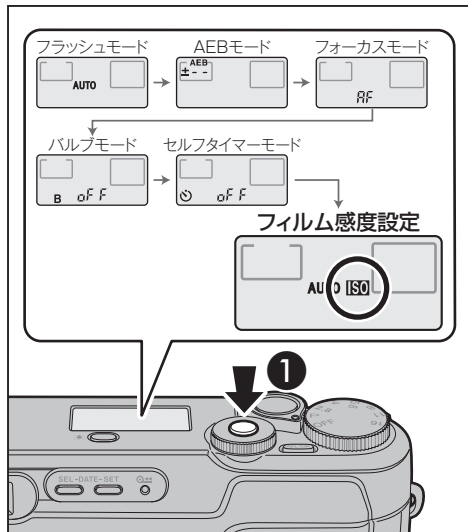
☞ セルフタイマーランプが点灯/点滅し、設定した時間経過後に自動的にシャッターが切れます。

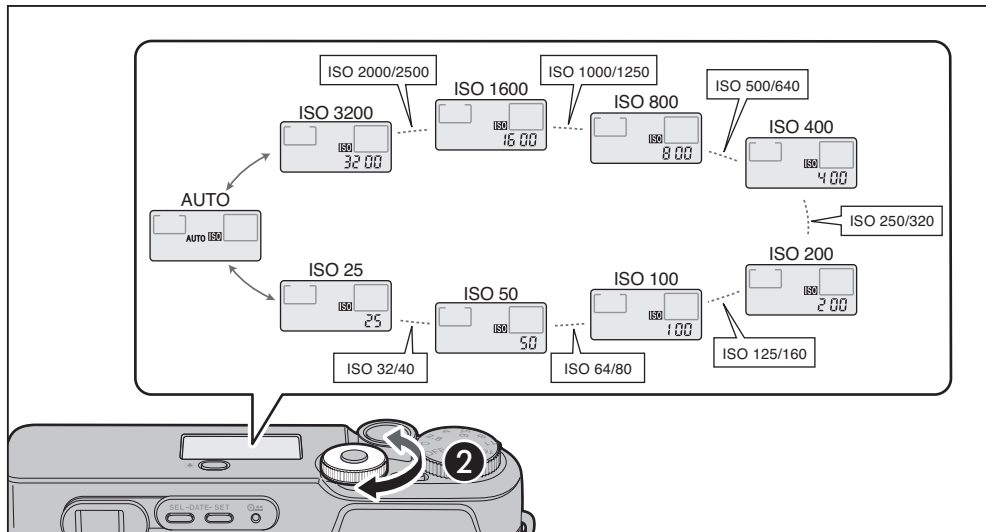
＊ AFロック撮影も可能です（➡30、32ページ）。

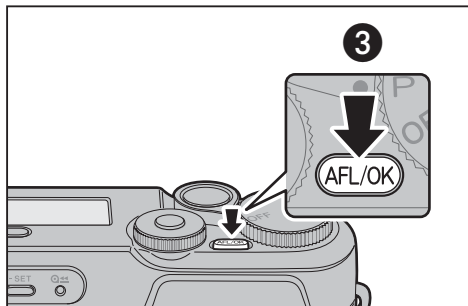
● スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、モードボタンを押してください。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。

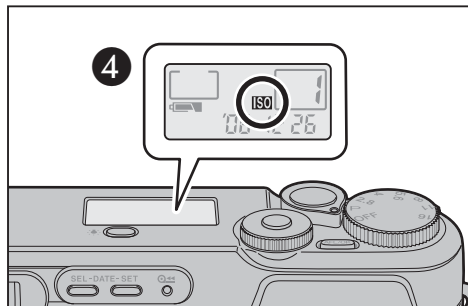
ISO フィルム感度の設定

増感/減感撮影など、自分でフィルム感度を設定したいときに使用します。

ISO100のフィルムをISO400のフィルム感度設定で撮影し、増感現像するなどの使い方ができます。

❶ モードボタンを押して、"ISO"を表示させます。

☞ フィルム感度の設定に入ります。

❷ モードダイヤルを回し、設定したいフィルム感度を表示させます。

☞ ISO25～3200から選択できます。

➡ 次ページの手順❸へ

❸ AFL/OK ボタンを押して、決定します。

☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

❹ ISO フィルム感度モード(ISO800以上のフィルム使用時は NP モード)の設定が終わると、設定されたモードで撮影できる状態になります。

☞ フィルム感度を設定すると、液晶表示部に" ISO "が表示されます。

● シャッターボタンを半押しすると、設定を完了し、撮影できる状態になります。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

モードの保持・解除について

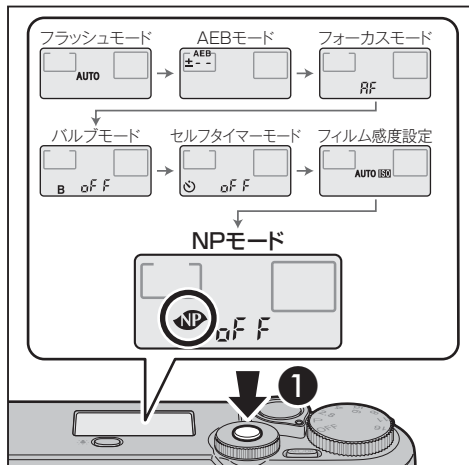
- 設定を切り替えるまで、設定は保持されます。
  自動設定に戻したいときは、“**AUTO**”に設定してください。

＊フィルム感度設定をしているときに電源を切り、次に電源を入れたときには、フィルム感度設定が点滅表示されます。

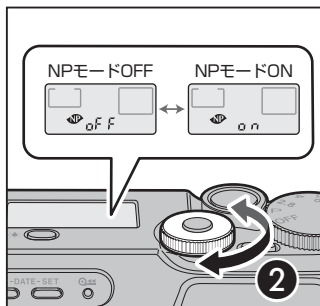
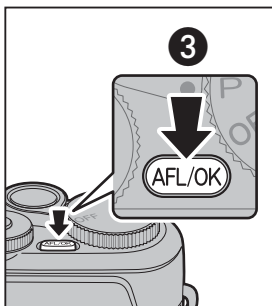
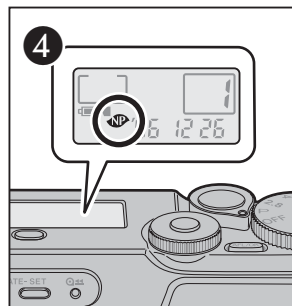
NP モードの設定

NP モードは、超高感度フィルムの性能を最大限に引き出すモードです。
カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御(0～＋2EV)を行います。
特に夜景撮影時、室内撮影時、フラッシュ OFF でも被写体や背景をより明るく描写します。

ISO800/1600/3200 のフィルム使用時のみ、NP モードが使用可能です。

ノンフラッシュで、周囲の雰囲気を生かした撮影ができます。

❶ モードボタンを押して、“ NP ”を表示させます。
☞ NP モードの設定に入ります。

＊ 露出補正(➡38ページ)を設定しているときは、NP モードを設定できません。

モードの
保持・解除について
●設定を切り替えるまで、設定は保持されます。
NPモードを解除したいときは、NPモードOFFの状態でAFL/OKボタンを押してください。

❷ モードダイヤルを回し、"on"を表示させせます。

❸ AFL/OKボタンを押して、決定します。

❹ NPモードの設定が終わると、撮影できる状態になります。

☞ NPモードを設定すると、液晶表示部に"NP"が表示されます。

＊ NPモードに設定すると、フラッシュモードは自動的に発光停止モードになり、フラッシュは発光しません。他のフラッシュモードには切り替えられません。

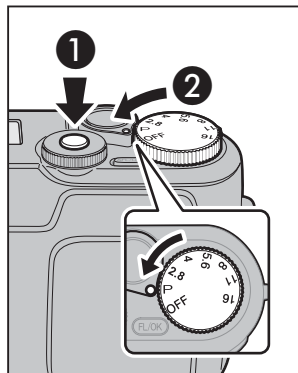
5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

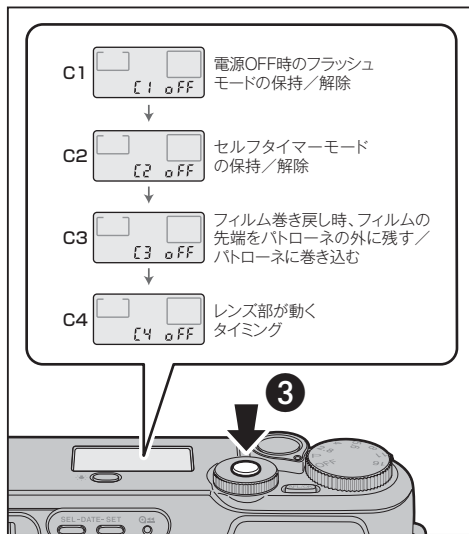
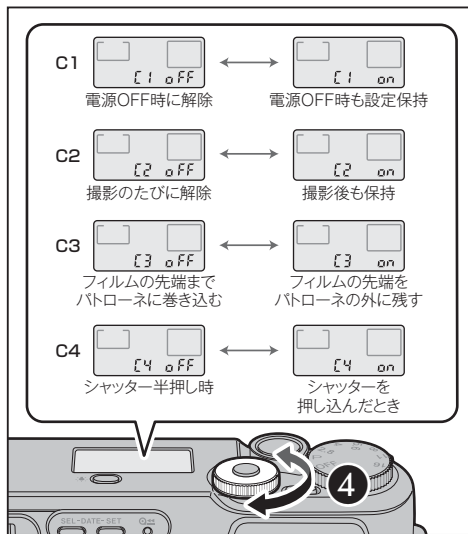
カスタム設定

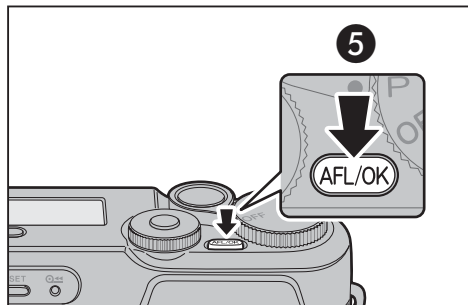
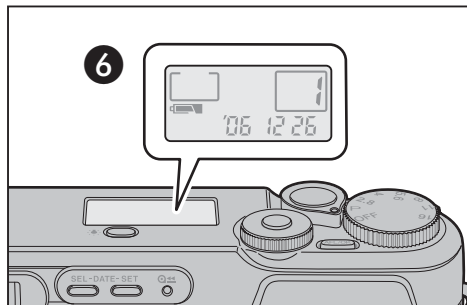
カメラの設定を使いやすいように変更できます。

■ カスタム設定

＊ **太字**は工場出荷時の設定

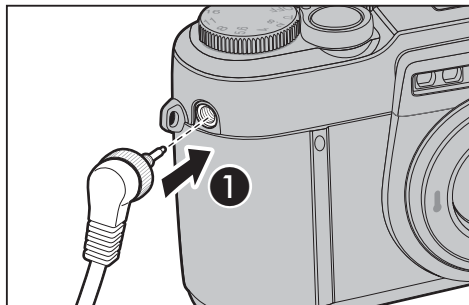
LCD	内容	on	oFF
C1	電源OFF時のフラッシュモードの保持／解除	電源OFF時も設定保持	**電源OFF時に解除**
C2	セルフタイマーモードの保持／解除	撮影後も保持	**撮影のたびに解除**
C3	フィルム巻き戻し時、フィルムの先端をパトローネの外に残す／パトローネに巻き込む	フィルムの先端をパトローネの外に残す	**フィルムの先端までパトローネに巻き込む**
C4	レンズ部が動くタイミング	シャッターを押し込んだとき	**シャッター半押し時**

❶ モードボタンを押しながら、

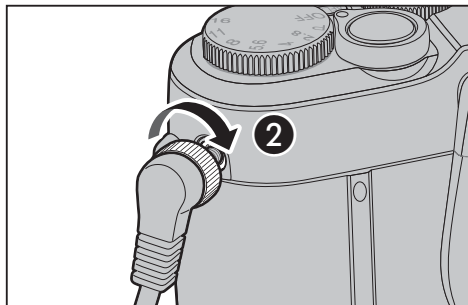
❷ 電源を入れます。

❸ モードボタンを押して、変更したい設定を表示させます。

❹ モードダイヤルを回し、設定したいモードを選択します。

次ページの手順❺へ

❺ AFL/OKボタンを押して、決定します。
☞ 続けて、他のモードの設定を行うことができます。

❻ C4モードの設定が終わると、撮影できる状態になります。

5秒以上操作しないと、自動的に設定されて、撮影可能な状態に戻ります。

ケーブルレリーズの接続

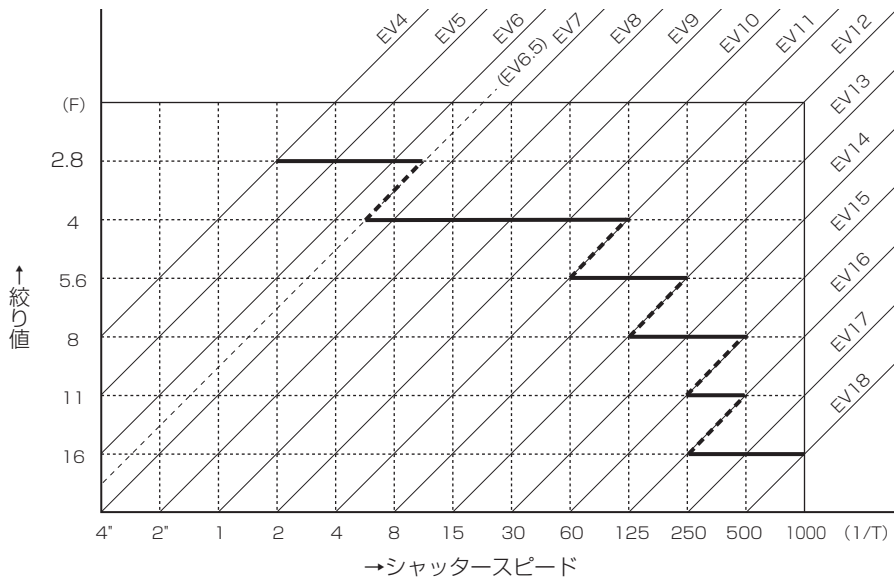
市販のケーブルレリーズなどを接続することができます。
＊ 別売の「TX-2 リモートレリーズスイッチ」も使用可能です。

電源をOFFにしてから、

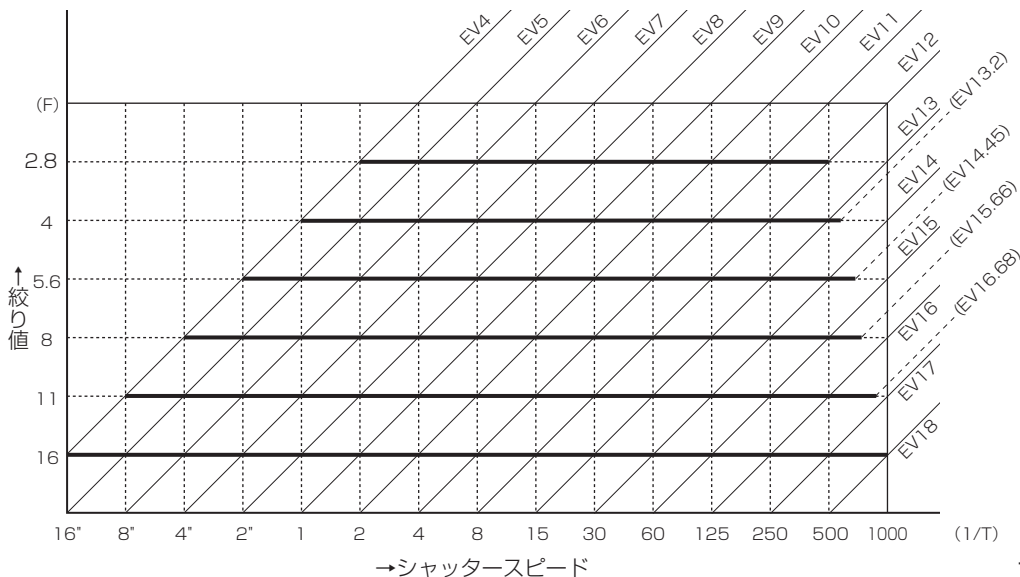
❶ レリーズソケットにリモートレリーズスイッチを差し込みます。

❷ リモートレリーズスイッチのねじを止まるまで回します。

＊ リモートレリーズスイッチを使用すると、シャッターボタン半押しでのAE測光ができません。あらかじめシャッターボタンを半押しして露出を確認、設定してから、リモートレリーズを作動させてください。

参考データ

● プログラム線図
プログラムAE［P］モード時

＊ 使用するフィルム感度（ISO）にかかわらず、**AUTO**自動発光モード使用時、低輝度、あるいはシャッタースピードが1/45秒より遅くなると、フラッシュが発光します。

● 絞り優先AE時の露出制御線図

＊ 使用するフィルム感度（ISO）にかかわらず、**AUTO**自動発光モード使用時、低輝度、あるいはシャッタースピードが1/45秒より遅くなると、フラッシュが発光します。

被写界深度表

●KLASSE W

（m）

	0.3m	0.4m	0.7m	1.0m	1.5m	2.0m	3.0m	5.0m	7.0m	10.0m	∞
F2.8	0.29～0.31	0.38～0.42	0.65～0.76	0.90～1.12	1.30～1.79	1.65～2.55	2.27～4.42	3.26～10.8	4.00～28.0	4.83～∞	6.80～∞
F4	0.29～0.31	0.38～0.43	0.63～0.78	0.87～1.18	1.22～1.95	1.53～2.88	2.06～5.55	2.83～21.3	3.38～∞	3.95～∞	5.18～∞
F5.6	0.28～0.32	0.37～0.44	0.61～0.82	0.82～1.27	1.14～2.21	1.40～3.50	1.83～8.40	2.41～∞	2.80～∞	3.18～∞	3.93～∞
F8	0.27～0.33	0.36～0.46	0.58～0.89	0.77～1.44	1.03～2.77	1.24～5.16	1.56～36.8	1.98～∞	2.23～∞	2.46～∞	2.89～∞
F11	0.27～0.34	0.34～0.48	0.54～0.99	0.70～1.73	0.92～4.07	1.09～12.6	1.33～∞	1.61～∞	1.77～∞	1.92～∞	2.17～∞
F16	0.25～0.37	0.32～0.53	0.49～1.23	0.62～2.58	0.78～18.4	0.90～∞	1.06～∞	1.23～∞	1.32～∞	1.40～∞	1.53～∞

●KLASSE S

（m）

	0.4m	0.7m	1.0m	1.5m	2.0m	3.0m	5.0m	7.0m	10.0m	∞
F2.8	0.39～0.41	0.68～0.73	0.95～1.06	1.39～1.64	1.80～2.25	2.56～3.62	3.88～7.05	4.97～11.9	6.31～24.3	16.9～∞
F4	0.39～0.41	0.67～0.74	0.93～1.09	1.33～1.72	1.71～2.42	2.38～4.08	3.46～9.06	4.30～19.0	5.26～107	11.0～∞
F5.6	0.39～0.42	0.65～0.76	0.90～1.13	1.28～1.83	1.61～2.64	2.20～4.77	3.08～13.4	3.73～61.0	4.43～∞	7.85～∞
F8	0.38～0.42	0.63～0.79	0.86～1.19	1.20～2.01	1.49～3.06	1.97～6.39	2.65～49.5	3.11～∞	3.58～∞	5.51～∞
F11	0.37～0.43	0.61～0.82	0.82～1.29	1.12～2.31	1.36～3.83	1.75～11.2	2.26～∞	2.58～∞	2.89～∞	4.02～∞
F16	0.36～0.45	0.58～0.89	0.76～1.49	1.00～3.08	1.19～6.63	1.47～∞	1.81～∞	2.01～∞	2.19～∞	2.78～∞

ファインダー・液晶表示部について

ファインダー内表示

＊シャッターボタン半押し時

	点 灯	遅い点滅	早い点滅
●合焦マーク	ピントが合っています。	ピントが合いません。 → AFの苦手な被写体のため、AFが働きません。撮りたい被写体と同じような距離、明るさの被写体にAFフレームを合わせ、AFロック撮影してください（➧30、32ページ）。	撮影距離が近すぎます。 → KLASSE Wでは0.3m以上、KLASSE Sでは0.4m以上離れ、AFフレームに被写体が入るようにしてください。 ＊ このとき、液晶表示部の撮影距離表示も点滅します。
⚡フラッシュマーク	フラッシュが発光します。	明るすぎ、露出オーバーになります。 → フラッシュモードを㊋発光停止モードにするか（➧46ページ）、少し離れて撮影してください。	フラッシュ充電中です。 → シャッターは切れません。フラッシュの充電が完了するまでお待ちください。
シャッタースピード		シャッタースピードが遅く、手ブレの可能性があります。	露出連動範囲外です。
MF	マニュアルフォーカスモードを設定しています。	—	**AFL**ボタンを使ってAFロックしています。

液晶表示部

	点 滅
フィルムカウンター	フィルムが正しく装てんされていません。　→ 撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。
撮影距離	撮影距離が近すぎます。　→ KLASSE Wでは0.3m以上、KLASSE Sでは0.4m以上離れ、AFフレームに被写体が入るようにしてください。
AEB	露出連動範囲外です。　→ AEB補正量を小さくしてください。 絞り優先AEモードの場合、絞りを変えてください。
MF	**AFL**ボタンを使ってAFロックしています。
ISO	（フィルム感度設定をしているときに、電源OFF→ONした後） フィルム感度設定がマニュアルになっています。 → フィルム感度設定に注意して撮影してください。

このようなときは

操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
シャッターが切れない。	① “[battery icon]”が点滅していませんか。	① 新しい電池に交換してください。	15ページ
	② 電源は入っていますか。	② メインダイヤルを回して、電源を入れてください。	14ページ
	③ フィルムカウンターが“E”で点滅していませんか。	③ フィルムの先端を**FILM TIP**マークまで引き出して、正しくフィルムを入れてください。	21ページ
	④ “E”が表示されていませんか。	④ フィルムを取り出して、未使用のフィルムを入れてください。	28ページ
	⑤ セルフタイマー作動中ではありませんか。	⑤ モードボタンを押してセルフタイマーを解除してください。	63ページ
	⑥ AEBモードで、露出連動範囲外になっていませんか。（ファインダー内のシャッタースピードが早い点滅、液晶表示部のAEB補正量が点滅）	⑥ • AEB補正量を小さくしてください。 • 絞り優先AE撮影時には、絞り値を変えるか、“P”にしてください。 • AEBモードを解除してください。	51ページ
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、“E”が点滅している。	● フィルムの先端を**FILM TIP**マークまで引き出していますか。あるいは**FILM TIP**マークよりも引き出しすぎていませんか。	● フィルムの先端が**FILM TIP**マークに合うようにフィルムの長さを調整し、正しく装てんし直してください。	21ページ

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
フィルムを入れても NP モードにならない。	① ISO400以下のフィルムを使用していませんか。 ② 露出補正を設定していませんか。	① ISO400以下のフィルム使用時には、NP モードを選択できません。 ② 露出補正を設定しているときには、NP モードを選択できません。	68ページ 68ページ
ピントが合わない（AF使用時にファインダー内の合焦マークが点滅）。	① 被写体に近づきすぎていませんか。 ② AFの苦手な被写体をねらっていませんか。	① KLASSE Wでは0.3m以上、KLASSE Sでは0.4m以上離れて撮影してください。 ② AFロック撮影またはマニュアルフォーカス撮影してください。	23ページ 30、32、52ページ
液晶表示部の“**MF**”が点滅し、シャッターが切れない。	—	● 電源のON/OFFを行い、“**MF**”の点滅が消えなければ、カメラの故障です。富士フイルム修理サービスセンターまたは富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。	—
液晶表示部の“セルフタイマー”が点滅し、シャッターが切れない。	—	● カメラの故障です。フィルムを取り出さずに富士フイルム修理サービスセンターまたは富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。	—

プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面がぼんやりしている。	① AF窓をかくして撮影しませんでしたか。	① AF窓をかくさないようにカメラを正しく構えてください。	23ページ
	② 被写体のねらい方が適切でしたか。	② AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。	24、30、32ページ
	③ レンズが汚れていませんか。	③ レンズをきれいにしてください。	82ページ
	④ カメラのブレではありませんか。	④ カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。 スローシャッター時は三脚を使用してください。	23ページ
	⑤ マニュアルフォーカス撮影時、撮影距離は正しくセットされていましたか。	⑤ 撮影距離を正しくセットしてください。	53ページ
	⑥ ファインダー内の合焦マークの点滅を無視して撮影しませんでしたか。	⑥ AFロック撮影またはマニュアルフォーカス撮影してください。	30、32、52ページ
画面が暗い。	① ファインダー内のシャッタースピード表示が点滅していたのに、撮影しませんでしたか。	① • 絞り優先AE撮影時には、絞りを変えるか、“P”にしてください。 • ⚡強制発光モードにしてください。	37、25ページ 46ページ
	② 暗い場所でのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんか。	② 規定のフラッシュ撮影距離内で撮影してください。	26、35ページ

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面が暗い。	③ フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。 ④ 窓際などの逆光撮影ではありませんか。 ⑤ 露出補正がかかっていませんか。	③ フラッシュ発光部に指を掛けないでください。 ④ ⚡モードで撮影してください。 ⑤ 露出補正を解除してください。	23ページ 46ページ 38ページ
画面が明るい。	① ファインダー内のシャッタースピード表示が点滅していたのに、撮影しませんでしたか。 ② 露出補正がかかっていませんか。	① • 絞り優先AE撮影時には、絞りを変えるか、“P”にしてください。 • 撮影距離が近すぎます。ファインダー内のシャッタースピード表示の点滅が消えるまで離れてください。 ② 露出補正を解除してください。	37、25ページ 25、37ページ 38ページ
デート(日付／時間)が合っていない。	● 電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	● 電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付と時間を修正してください。	16ページ
デートが写し込まれていない／はっきり写らない。	① デートモードを“-- -- --”にして撮影しませんでしたか。 ② デートの写る位置に、白･黄･オレンジなどの明るいものがありませんか。	① “-- -- --”以外のデートモードを選択して撮影してください。 ② デートの写る位置に、なるべく明るいものがこないようにしてください。	18ページ 18ページ

取扱上のお願い

カメラは精密機械です。取り扱いには次のようなことに十分ご注意ください。

1. カメラの清掃

- 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
- 撮影前後に、カメラの清掃を行ってください。ブロアーブラシでホコリを払い、カメラの外側はシリコンクロスなどの柔らかい布でふいてください。
- フィルム室に汚れやホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。特にカメラ内部の清掃は常に心掛けてください。

2. レンズの清掃

- レンズのすり傷は、想像以上にシャープネスの劣化につながります。何となくコントラストが低下し、しまりのない写真になったら、すり傷が原因になっていることが考えられます。
  そこで、レンズ清掃は以下のように注意深く行ってください。
  ① レンズ表面のゴミ、ホコリをブロアーブラシで吹きとばしてください。
  ② クリーニングペーパーに市販のレンズクリーニング液を浸して、軽くレンズの中心から周辺に向かって、回しながらふき取ります。
  ③ レンズの汚れがとれたら、乾いたクリーニングペーパーでレンズクリーニング液のふきむらを、レンズの中心から周辺に向かって、回しながら軽くふき取ります。
- レンズにゴミ、ホコリなどが付いているとき、息を吹きかけてシリコンクロスなどでふくことは絶対避けてください。すり傷発生の原因になります。
- AF窓、ファインダーについても、レンズ清掃と同じように清掃を行ってください。AF窓の傷は、正しい距離測定に支障を来すことがあります。同様にファインダーの汚れ・傷はファインダーの見えに影響を与えることがあります。

3. 液晶表示について

- 約60℃の高温では、液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので故障ではありません。

4. 電池について

- 低温下では、電池は性能が低下する性質を持っています。常温に戻れば性能は回復します。低温下での撮影には、新しい電池を使用し、予備の電池をポケットなどに入れて、温めながら交互に使うなどの方法をとってください。消耗した電池では低温時、カメラが作動しなくなることがあります。
- 電池容量の表示が"▮⎯◣"になりましたら電池交換が必要となりますので、予備の電池と交換してください。

5. 使用温度範囲

- このカメラの使用温度範囲は－10℃～＋40℃です。

6. 保　管

- 夏期は、高温の自動車の中や湿気のある場所に長時間放置しないでください。
- カメラを保管するときは、湿気、ホコリ、熱の影響のないところに収納してください。
- ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。

7. フィルムの出し入れ

- 必ず直射日光を避けて行ってください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、別紙に記載の富士フイルムイメージング株式会社各支社か富士フイルム修理サービスセンターまたはお近くの富士フイルムサービスステーションをご利用ください。

● **無料修理**

故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊ 詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

● **有料修理**

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーションまたは富士フイルム修理サービスセンター以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂·泥の付着、カメラ内部への水·砂·泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

● **修理不能**

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム修理サービスセンターまたはお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後７年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店か富士フイルム修理サービスセンターまたはお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルム修理サービスセンターまたは富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは12,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルム修理サービスセンターまたは富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常７～10日位をご予定ください。

● 海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外現地法人または富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外現地法人、代理店の所在地一覧表は富士フイルム修理サービスセンターまたはお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

<table>
<tr><th></th><th>KLASSE W</th><th>KLASSE S</th></tr>
<tr><td>形式</td><td colspan="2">35mm レンズシャッターカメラ</td></tr>
<tr><td>画面サイズ</td><td colspan="2">24mm × 36mm</td></tr>
<tr><td>使用フィルム</td><td colspan="2">135フィルム <table><tr><td rowspan="2">撮影枚数</td><td>36EXP</td><td>24EXP</td><td>12EXP</td></tr><tr><td>36枚</td><td>24枚</td><td>12枚</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="5">撮影レンズ

画角</td><td colspan="2">スーパーEBCフジノンレンズ</td></tr>
<tr><td>5群6枚</td><td>3群4枚</td></tr>
<tr><td>f=28mm</td><td>f=38mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">1:2.8</td></tr>
<tr><td>75.4°</td><td>59.3°</td></tr>
<tr><td rowspan="4">距離合わせ
撮影距離
マニュアルフォーカスモード切り替え</td><td colspan="2">パッシブAF方式</td></tr>
<tr><td>0.3m ～∞</td><td>0.4m ～∞</td></tr>
<tr><td>16点</td><td>15点</td></tr>
<tr><td colspan="2">フォーカスロック機能付き　近距離警告あり</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ファインダー
倍率
視野率</td><td colspan="2">実像式ファインダー</td></tr>
<tr><td>0.35倍</td><td>0.48倍</td></tr>
<tr><td colspan="2">85%（∞時）</td></tr>
<tr><td>ファインダー内表示</td><td colspan="2">MF（マニュアルフォーカス）　露出補正　合焦マーク　シャッタースピード
フラッシュマーク</td></tr>
<tr><td>シャッター</td><td colspan="2">AE電子式プログラムシャッター（プログラムAE、絞り優先AE）</td></tr>
<tr><td>シャッタースピード</td><td colspan="2">B、1/2～1/500秒（F2.8時）　～1/1000秒（F16時）</td></tr>
<tr><td>露出制御</td><td colspan="2">方式：測光IC外部測光方式　連動範囲：EV4～EV16（ISO100）</td></tr>
<tr><td>撮影モード</td><td colspan="2">プログラムAE、絞り優先AE</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td colspan="2">±2.0EV　0.5EVステップ刻み</td></tr>
<tr><td>AEB</td><td colspan="2">±0.5EV、±1.0EV選択　連続3コマもしくは2コマ</td></tr>
<tr><td>NPモード</td><td colspan="2">明るさに応じて最適な露出制御（0～＋2EV補正）</td></tr>
</table>

	KLASSE W	KLASSE S
フィルム感度	DXオートセット ISO25～3200（1/3ステップ刻み） マニュアルセット可能	
フィルム装てん	オートローディング方式　1コマ目自動セット フィルムが送られない場合、シャッターロックおよび液晶表示部に“E”点滅	
フィルム給送	逆装てん　順送式　自動巻き上げ　自動巻き戻し 途中巻き戻し可能（途中巻き戻しボタンによる）　＊FILM TIP残し可	
フィルムカウンター	順算式	
フラッシュ	内蔵式低輝度自動発光フラッシュ　充電時間：約4秒	
ガイドナンバー	9	11
フラッシュモード	自動発光モード／発光停止モード／強制発光モード／赤目軽減モード／ 夜景（スローシンクロ）モード／夜景ポートレート（スローシンクロ）モード ＊赤目軽減モードの方式：4回プレ発光し、5回目にフラッシュ発光	
セルフタイマー	電子式　作動時間：10秒/2秒　セルフタイマーランプ付き	
液晶表示	フィルムカウンター　絞り値（プログラムAE時）　撮影距離　露出補正　フラッシュモード（自動発光モード／発光停止モード／強制発光モード／赤目軽減モード／夜景（スローシンクロ）モード／夜景ポートレート（スローシンクロ）モード）　AEB　AEB補正量　MF（マニュアルフォーカス）　B（バルブ）　バルブタイマー　セルフタイマー　NPモード　フィルム感度　デート　電池容量　＊バックライト付き	
電源	リチウム電池 CR2　1本	
その他	デート機能　三脚ねじ穴付き　ケーブルレリーズ使用可能 別売専用フード取り付け可能	
大きさ	123.0mm × 63.5mm × 38.5mm（突起部除く）	
質量（重さ）	270g（電池別）	265g（電池別）

＊ 仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社　〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

富士フイルム イメージング株式会社　〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…

富士フイルムイメージング株式会社 お客様相談窓口

ナビダイヤル 市内通話料でOK® **0570-00-2236**

※呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、0228-35-1063

受付時間 : 月曜日～金曜日 9:00～17:00　※土・日・祝日・年末年始を除く

●お買い上げ製品の修理受付に関するお問い合わせは…

富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル 市内通話料でOK® **0570-00-0081**

※呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、0228-35-3586

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:40　土曜日 10:00～17:00　※日・祝日・年末年始を除く

FAX 0570-06-0070

受付時間：24時間（返答対応は電話の受付時間と同一です）

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター　TEL（03）5786-1711

受付時間 : 月曜日～金曜日 9:30～17:00　※土・日・祝日・夏季休業日・年末年始・5月1日を除く

富士フイルム ホームページ　http://fujifilm.jp

※富士フイルムグループでは、お客様からのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。
※電話等の応対でお客様から取得した個人情報は、後日、お問い合わせに関するアンケートをお願いする際に使用する場合があります。

FPT-802001-FP-02